

令和 6 年度

上田市社会福祉協議会事業報告書

(自) 令和 6 年 4 月 1 日 (至) 令和 7 年 3 月 31 日

社会福祉法人 上田市社会福祉協議会



- 目次 -

上田市社会福祉協議会の概況・・・・・・・・・・・・・・・・	1～2
令和6年度 総括・・・・・・・・・・・・・・・・	3～4

No.	事業名	ページ
1	組織図	5
2	職員構成	6
3	法人運営	7～13
4	善意銀行	13～15
5	企画・広報	15～16
6	希望の旅事業	17
7	上田市ファミリー・サポート・センター事業	17～18
8	福祉推進事業	18～21
9	点字・声の広報発行事業	21
10	日常生活自立支援事業	22
11	地域ふれあい事業	22～23
12	上小圏域成年後見支援センター事業	23～26
13	上田市生活就労支援センター“まいさぼ上田”事業	26～27
14	有償在宅福祉サービス事業	27～28
15	心配ごと相談事業	29
16	結婚相談事業	29～30
17	たすけあい資金貸付事業	30～31
18	緊急小口資金等特例貸付後の相談支援体制強化事業	32
19	ボランティア地域活動センター事業	32～33
20	子育てひろば（地域子育て支援拠点事業）	33～34
21	上田市高齢者福祉センター管理事業	34～36
22	上田市丸子老人福祉センター設置管理事業	36
23	上田市真田老人福祉センター管理事業	36～37
24	真田ふれあいバス運行事業	37
25	上田市ふれあい福祉センター管理事業	37～38
26	上田市真田総合福祉センター管理事業	38
27	上市長瀬市民センター管理事業	38～39
28	共同募金配分金事業	39～44
29	地域包括支援センター事業	44～48
30	通所介護事業	48～50
31	居宅介護支援事業	50～51
32	児童館・児童センター事業	52～53
33	その他の事業	53～57

上田市社会福祉協議会の概況

1 名 称 社会福祉法人 上田市社会福祉協議会

2 事務所の所在地 上田市中央三丁目5番1号（上田市ふれあい福祉センター内）

3 設立年月日 平成18年10月1日

4 目 的

上田市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする。

5 組織・運営

全市民を世帯単位に会員として16地区241支部社協を構成し、自治会長・民生委員・児童委員・福祉推進委員・社会福祉事業関係者・行政機関などを構成メンバーとし、組織されている。会員制により地域の住民、自治会、社会福祉関係者などの参加・協力を得て活動している。

6 所轄官庁 厚生労働省

7 役員

(1) 理事・監事・顧問

役職名	氏 名	選 出 区 分	備 考	
会 長	宮之上 孝司	学識経験を有する者		
副会長	中村 彰	地域の代表者	上田市自治会連合会会長	
副会長	古川 友枝	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会会長	
副会長	母袋 元	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会副会長	
常務理事	中村 栄孝	学識経験を有する者		
理 事	小林 泉	地域の代表者	上田市自治会連合会副会長	～令和6年6月20日
	岡村 一成			令和6年6月20日～
理 事	中村 守	地域の代表者	上田市自治会連合会副会長	～令和6年6月20日
	西牧 真吾			令和6年6月20日～
理 事	橋詰 秀行	地域の代表者	上田市自治会連合会副会長	～令和6年6月20日
	鈴木 三千夫			令和6年6月20日～
理 事	小市 正輝	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会副会長	
理 事	聲山 孝道	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会副会長	
理 事	佐藤 永寿子	社会福祉事業を営む団体の役職員	上小圏域障害者自立支援協議会	
理 事	上原 より子	ボランティア活動を行う団体の代表者	上田ボランティア連絡協議会会長	
理 事	北島 大志	関係行政機関の職員	上田市福祉部長	
理 事	成沢 功	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市社会福祉協議会福祉推進委員連絡協議会会長	
理 事	原 幸子	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市赤十字奉仕団委員長	
監 事	小池 晃雄	財務諸表等を監査し得る者		
監 事	中澤 照夫	社会福祉事業について学識を有する者		
顧 問	丸山 正明	前上田市社会福祉協議会会長	令和6年11月22日退任	

(2) 評議員

氏 名	選 出 区 分	備 考	
橋本 至永	学識経験を有する者	上田市医師会	
金子 義幸	学識経験を有する者	上田商工会議所	～令和 6 年 4 月 27 日
矢ヶ崎 雅哉			令和 6 年 4 月 27 日～
鈴木 忠義	学識経験を有する者	長野大学	
堀内 絹予	学識経験を有する者	上田市校長会	～令和 6 年 6 月 24 日
竹内 仁一			令和 6 年 6 月 24 日～
野村 康太	学識経験を有する者	上田青年会議所	～令和 6 年 6 月 24 日
岩下 佑也			令和 6 年 6 月 24 日～
竹田 裕美	学識経験を有する者	上田市子ども会 育成連絡協議会	～令和 6 年 4 月 27 日
坂口 純一			令和 6 年 4 月 27 日～
竹内 茂	学識経験を有する者	上田市多文化共 生推進協会	～令和 6 年 4 月 27 日
柴田 隆一			令和 6 年 4 月 27 日～
大井 和彦	地域の代表者	上田市自治会連合会	～令和 6 年 6 月 24 日
坂田 和善			令和 6 年 6 月 24 日～
宮島 淳	地域の代表者	上田市自治会連合会	令和 6 年 6 月 24 日
井出 守雄			令和 6 年 6 月 24 日
荒川 光広	地域の代表者	長野県弁護士会上田在住会	
永井 静江	地域の代表者	上小東御地域女性団体連絡協議会	
丸山 美奈子	地域の代表者	上小東御地域女性 団体連絡協議会	～令和 6 年 4 月 27 日
沖島 則子			令和 6 年 4 月 27 日～
山邊 幸男	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会	
池田 弘子	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会	
三井 千愛	社会福祉事業を経営する団体の役職員	上小地区障がい児者施設連絡協議会	
中村 聖美	社会福祉事業を経営する団体の役職員	介護保険指定居宅介護 支援事業者連絡協議会	～令和 6 年 6 月 24 日
山本 伊久子			令和 6 年 6 月 24 日～
大日向 悟	ボランティア活動を行う団体の代表者	武石ボランティ ア連絡協議会	～令和 6 年 6 月 24 日
宮下 辰男			令和 6 年 6 月 24 日～
小平 八重子	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市社会福祉協議会福祉推進委員連絡協議会	
滝沢 清茂	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市高齢者ク ラブ連合会	～令和 6 年 6 月 24 日
柳沢 泉			令和 6 年 6 月 24 日～
吾妻 博夫	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	NPO 法人上田市身体障害者福祉協会	
中山 光次	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市丸子地区赤十字奉仕団	

令和6年度 総括

長引く物価高騰による生活困窮や社会的孤立など、地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、地域のつながりが希薄になっています。

このような中、上田市社会福祉協議会では、社会の変化を踏まえ、「あったかい 心あふれる 協働のまち」を行動指針に、1人でも多くの市民が笑顔になれるよう「笑顔 花咲く 上田市社協」をコンセプトとして、さまざまな福祉課題を抱える住民に対して個々に寄り添った伴走型の支援を行ってまいりました。

近年では、大規模災害が頻繁に発生し、災害支援活動も非日常的なものから日常的なものへと変化し、日ごろからの住民同士の助け合い、支え合いが改めて求められています。

令和6年1月1日に発災した能登半島地震について、上田市社会福祉協議会では義援金の募集のほか、災害ボランティアセンターの運営支援のための職員派遣を行ってきました。

また、個人ボランティアをワンボックスカーで被災地に派遣するボランティア・バンを実施し、災害支援を行ってきました。

○ 令和6年度重点施策の実施状況

1 住民参加と協働による地域福祉活動

地区社協住民会議では、災害や防災に関する内容のほか、どうしたら良い地域を作っているのかなど、具体的な話し合い、意見交換が行われました。

また、住民支え合いマップでは、地図上にハザードマップを表示されるようシステム更新を行い、自治会の支援班において避難想定区域を意識した具体的な検討や話し合いが行われました。

2 生活困窮者への重層的な支援

新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例貸付後の相談支援として、生活状況等のアンケートを実施し、支援が必要な方に対してのフォローアップ支援を行いました。

フードドライブ事業により、生活に困っている世帯等への食糧支援を行いました。

また、自治会等へ出向き、お米の配布会を実施しました。

3 資源の有効活用による持続可能な地域づくりの推進

自治会や地区社協単位によるフードドライブの取組のほか、民間企業と連携し、食品等を募るフードドライブポストを新たに設置しました。

また、企業から御寄附をいただいた消費期限前のパンをお渡しする「パンたべよ」も定着し、食品ロス削減サポーターに登録いただいた多くの会員にパンをお届けしました。

子ども服のリユース事業「ふくふくひろば」については、市や民間企業と連携し、必要とする方に情報が届けられるよう事業周知を行いました。

4 ボランティア地域活動センターの充実とボランティア育成の推進

能登半島地震の被災地支援として、災害ボランティアを募り、現地の道路状況等を考慮し、ワンボックスカーを活用した災害支援活動を実施しました。

また、福祉教育の推進として小・中学校や高等学校に出向き、ボッチャ、モルックなどのユニバーサルスポーツ体験を実施し障がい者への理解を深めたり、高齢者疑似体験などを通して高齢者への理解を深める講座を実施しました。

5 介護保険事業の経営改善と包括的な支援

居宅介護支援事業では、利用者の状況についてミーティング時に検討を重ね、事業所内での情報共有を図ることができました。

デイサービスセンター事業では、ボランティアの受入を増やしたり、外出行事も増やしたりしながら、レクリエーションなどにより楽しい雰囲気でも過ごせるよう取り組みました。

また、高齢者虐待及び感染症予防の委員会を立ち上げ、必要な職員研修を実施し、職員の知識向上やスキルアップを図りました。

6 地域で安心して生活できる子育て支援事業の推進

児童館・児童センターは、児童の放課後等の居場所としての必要性が高まり、多くの児童に利用され、子どもたちが安全に活動ができるよう施設の巡視を行い、環境を整備しました。

子育てひろばでは、親子が安心して利用できるようさまざまな講座を開催するほか、児童センターと利用が重なる期間や場所を調整し、快適に過ごせる親子の居場所となるよう取り組みました。

上田市ファミリー・サポート・センターでは、日常的な子育ての支援を行うだけでなく、出張登録や交流会、講習会を開催し、地域や家庭で安心して子育てができるよう支援を行いました。

7 社協運営の基盤強化

職員研修計画に基づき各種研修会を実施し、職員の意識啓発及び組織内のリスクマネジメント体制の強化に努めました。

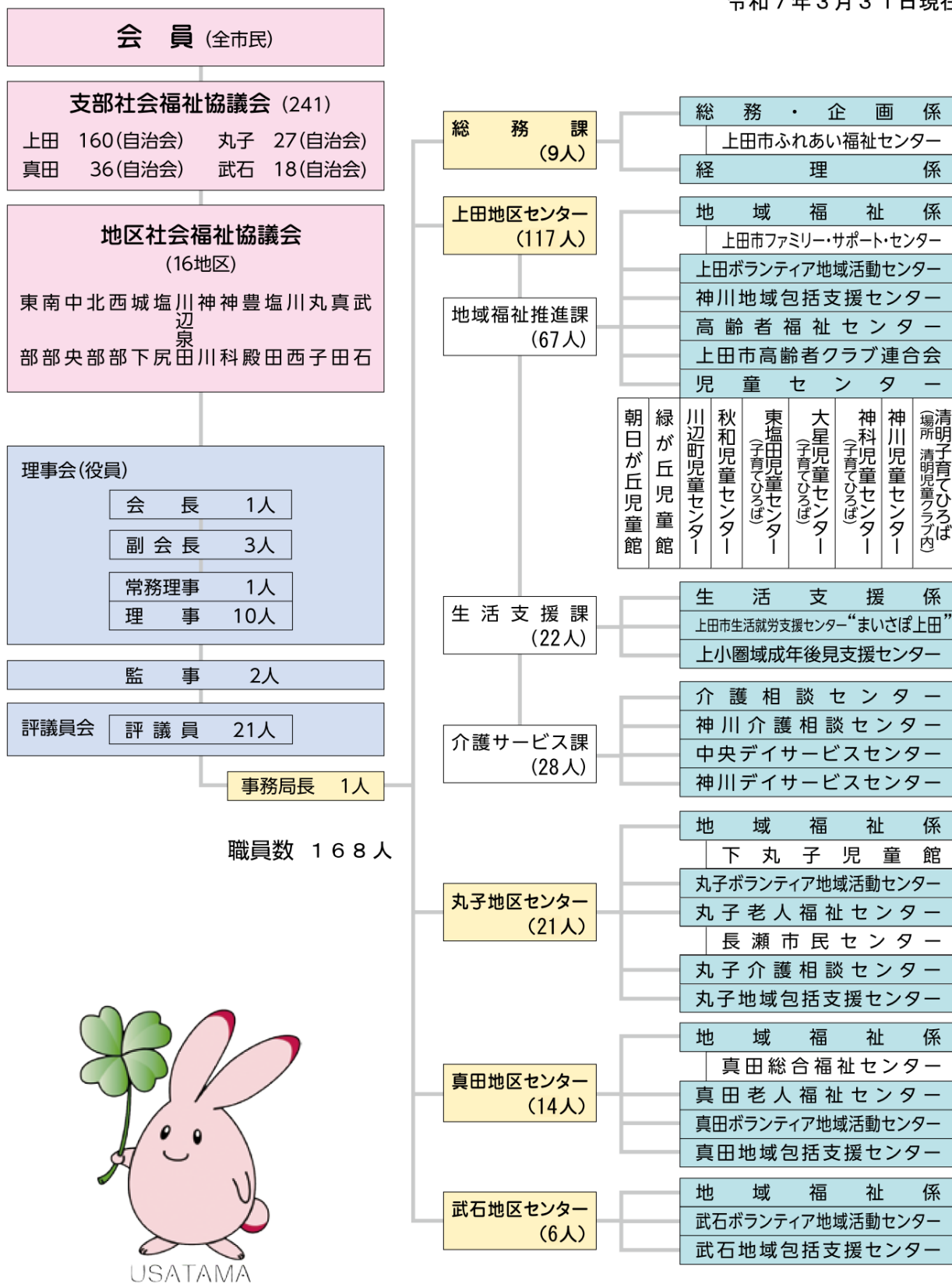
また、法改正に伴い必須となった、虐待防止研修や感染症予防研修を実施しました。

研修の開催に際しては、オンラインを併用し、多くの職員が参加することができました。

1 組織図

上田市社会福祉協議会組織図

令和7年3月31日現在



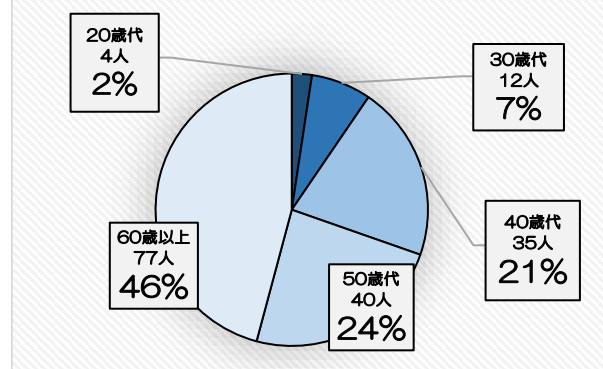
2 職員構成

(令和7年3月31日現在)

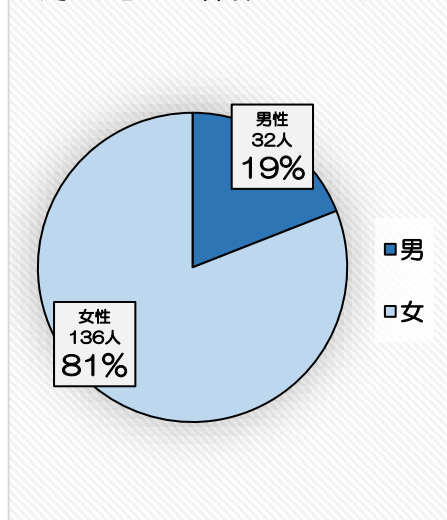
平均年齢 (単位：歳)

	平均年齢
全職員	53.0
正規職員	45.6
非正規職員	60.5

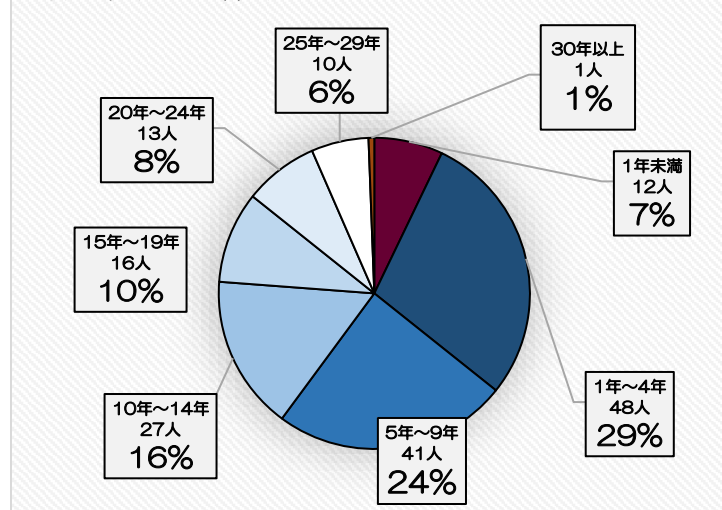
年代別割合 全体数168人



男女比 全体数168人



勤続年数 全体数168人



有資格者数 (単位：人)

資格種類	人数
社会福祉士	39
精神保健福祉士	12
介護福祉士	35
主任介護支援専門員・介護支援専門員	41
保健師・看護師	9
保育士	35
幼稚園教諭	33
小学校、中学校、高等学校教諭	25

3 法人運営

【令和 6 年度事業費】 224,318 千円

法人運営

事業実績		
(1) 理事会・評議員会		
理事会	第 83 回理事会 令和 6 年 4 月 19 日(金)	【議案内容】 ・ 選出団体の役員改選に伴う評議員候補者の推薦について（書面議決による。）
	第 84 回理事会 令和 6 年 6 月 5 日(水)	【議案内容】 ・ 令和 5 年度事業報告及び社会福祉事業決算について ・ 選出団体の役員改選に伴う理事候補者の推薦について ・ 選出団体の役員改選に伴う評議員候補者の推薦について ・ 第 50 回評議員会の開催について
	第 85 回理事会 令和 6 年 9 月 9 日(月)	【議案内容】 ・ 福祉推進委員設置要綱の廃止について ・ 専決処理した令和 6 年度社会福祉事業第 1 次補正予算の承認について ・ 会長及び常務理事の業務執行状況について
	第 86 回理事会 令和 7 年 3 月 12 日(水)	【議案内容】 ・ 令和 6 年度社会福祉事業第 3 次補正予算(案)について ・ 令和 7 年度事業計画（案）及び資金収支予算（案）について ・ 任期満了に伴う理事、監事の選出区分について ・ 任期満了に伴う評議員の選出区分について ・ 任期満了に伴う苦情解決第三者委員の選任について ・ 役員等賠償責任保険契約について ・ 第 51 回評議員会の開催について ・ 専決処理した令和 6 年度社会福祉事業第 2 次補正予算の承認について ・ 会長及び常務理事の業務執行状況について
評議員会	第 50 回評議員会 令和 6 年 6 月 20 日(木)	【議案内容】 ・ 令和 5 年度事業報告及び社会福祉事業決算について ・ 選出団体の役員改選に伴う理事の選任について
	第 51 回評議員会 令和 7 年 3 月 25 日(火)	【議案内容】 ・ 令和 6 年度社会福祉事業第 3 次補正予算(案)について ・ 令和 7 年度事業計画（案）及び資金収支予算（案）について ・ 任期満了に伴う理事、監事の選出区分について ・ 専決処理した令和 6 年度社会福祉事業第 1 次補正予算及び第 2 次補正予算の承認について

(2) 会長業務執行状況

月 日	内 容
4 月 1 日	辞令交付式
5 日	寄附受領式（上田ソフトボール協会）
10 日	第 276 回課長会議 社協職員永年勤続表彰
11 日	高齢者学園入学式
12 日	寄附受領式（神川合戦場桜まつり実行委員会）
15 日	上田市民生委員・児童委員協議会役員会
19 日	西部地区社会福祉協議会総会・住民会議
21 日	豊殿地区社会福祉協議会総会
22 日	上田市遺族会役員総会 第 35 回社協職員衛生委員会
25 日	丸子地域シニアクラブ総会 上小圏域成年後見支援センター 第 36 回運営委員会
27 日	小河滋次郎博士顕彰会定期総会
5 月 8 日	第 277 回課長会議
9 日	武石地区社会福祉協議会総会
15 日	長野県シニア大学上小学部入学式 上田地区保護司会定期総会
18 日	第 50 回上小地区障がい者スポーツ大会
20 日	能登半島地震派遣職員報告会
21 日	地区社協会長会
22 日	上田市肢体不自由児者父母の会総会 丸子地区社会福祉協議会総会
23 日	令和 5 年度事業監査 「令和 6 年度能登半島地震」被災地支援上田市社協災害ボランティアバン先遣隊出発式
24 日	真田地区社会福祉協議会総会
26 日	北部地区まちづくり協議会定期総会及び講演会
28 日	第 64 回正副会長会
30 日	上田市民生委員・児童委員協議会総会
31 日	上田地域福寿クラブ連合会第 40 回定期大会
6 月 3 日	寄附受領式（かがやき 21 上田）
4 日	上田地区共同募金会運営委員会
5 日	第 84 回理事会 福祉推進委員連絡協議会地区会長会
9 日	上田市身体障害者福祉協会令和 5 年度通常総会
10 日	第 278 回課長会議
12 日	第 89 回信州上田医療センター地域医療諮問委員会
15 日	信州ルネッサンス 2024

6 月	19 日	川辺・泉田地区社会福祉協議会総会
	20 日	第 50 回評議員会
	25 日	上田市共同募金会運営委員会 長野県社会福祉協議会 第 149 回評議員会
7 月	2 日	増田宗彦氏 藍綬褒章受章御祝いの会
	5 日	「小さな親切」運動定期総会 寄附受領式（八十二銀行神科支店・長野銀行上田支店）
	10 日	第 279 回課長会議
	25 日	「令和 6 年度能登半島地震」被災地支援上田市社協災害ボランティアバン第 1 便出発式
	26 日	苦情解決第三者委員会
8 月	5 日	第 280 回課長会議 第 37 回信州上田大花火大会
	7 日	第 82 回国民スポーツ大会上田市準備委員会
9 月	8 日	神科地区社会福祉協議会住民会議
	9 日	第 85 回理事会
	11 日	第 281 回課長会 寄附受領式（長野県上田千曲高等学校） 信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	19 日	上小ブロック社会福祉協議会役職員研修会
	28 日	上田市高齢者学園文化祭
10 月	1 日	寄附受領式（信州うえだ農業協同組合西部地区事業部）
	3 日	福祉推進委員地区会長会議
	4 日	第 19 回人権を考える市民のつどい
	7 日	第 282 回課長会
	10 日	寄附受領式（美し信州建設株式会社）
	11 日	上田市議会教育厚生委員との懇談会
	20 日	第 46 回うえだ市民ふれあい広場
	21 日	西部地区社会福祉協議会住民会議
	30 日	南部地区社会福祉協議会住民会議
	31 日	第 18 回上田市社会福祉大会
11 月	2 日	真田地区社会福祉協議会住民会議
	3 日	第 42 回上田真田まつり
	6 日	第 283 回課長会議 神川苑・芸能発表会
	7 日	令和 6 年度上田市戦没者追悼式・遺族大会 川西地区社会福祉協議会住民会議
	12 日	塩田地区社会福祉協議会住民福祉大会
	13 日	丸子地区社会福祉協議会住民会議
	14 日	塩尻地区社会福祉協議会住民会議
	17 日	豊殿地区社会福祉協議会住民会議

11 月	21 日	中央地区社会福祉協議会住民会議
	23 日	令和 6 年度上田市功労者表彰式 武石地区社会福祉協議会住民会議
	26 日	東部地区社会福祉協議会住民会議
	30 日	北部地区社会福祉協議会住民会議
12 月	2 日	寄附受領式（長野県理容生活衛生同業組合上小支部）
	9 日	第 284 回課長会議
	11 日	令和 6 年度中間決算報告会 信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	14 日	上田青年会議所年忘れの宴
	20 日	寄附受領式（小さな親切運動）
	25 日	寄附受領式（信州うえだ農業共同組合）
1 月	6 日	仕事始めの式 新年あいさつ回り
	9 日	寄附受領式（上田西ロータリークラブ） 上田商工会議所新春賀詞交換会
	10 日	第 285 回課長会議
	20 日	上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会
	22 日	上田地区保護司会新年懇親会
2 月	3 日	地域福祉推進フォーラム
	7 日	寄附受領式（八十二銀行神科支店、長野銀行上田支店）
	10 日	第 82 回国民スポーツ大会上田市準備委員会 第 1 回常任委員会
	12 日	第 286 回課長会議
	17 日	長野県社会福祉協議会評議員会（オンライン）
3 月	5 日	第 65 回正副会長会
	10 日	第 287 回課長会議
	12 日	上田市高齢者学園卒業式 第 86 回理事会 信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	14 日	長野県共同募金会第 281 回理事会
	18 日	令和 6 年度社会福祉トップセミナー
	19 日	上小地域包括医療協議会定時総会
	25 日	第 51 回評議員会
	26 日	第 152 回長野県社会福祉協議会評議員会
	31 日	辞令交付式
※ その他内部用務 事業運営指導、渉外業務、事務処理 等 (3) 第 18 回上田市社会福祉協議会 表彰審査委員会 8 月 28 日(水) (4) 苦情解決第三者委員 7 月 26 日(金)		

- (5) 上田市社協職員衛生委員会
12 回
- (6) ブロック会議
5 月 1 日(水) 上小ブロック社協連絡会議 (青木村老人福祉センター)
7 月 9 日(火) 上小ブロック社協連絡会議 (青木村老人福祉センター)
9 月 19 日(木) 上小ブロック社協役職員研修 (青木村文化会館)
- (7) 福祉人材の育成
社会福祉士実習生受入れ 7 人 (長野大学、佐久大学、群馬医療福祉大学)
看護学生の受入れ 6 人 (長野大学)

社協会費

【事業概要】

社協の会員会費制度は、市民一人ひとりが福祉に関心を持ち、積極的に地域の福祉活動に参加していただくことを目的としている。

会員になることが、福祉活動に参加することと同じ意味を持っており、財政面だけでなく、地域福祉を支える大きな力になる。地域福祉の主役である市民と、それを推進する社協が一体となり、福祉のまちづくりを行うために欠かせない仕組みである。

事業実績					
社協会費納入実績・推移			(単位：円)		
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
普通会費	23,468,351	23,614,694	23,246,102	22,932,154	22,760,953
特別会費	1,631,000	1,497,000	1,420,000	1,293,000	1,213,000
法人会費	2,311,000	2,717,560	2,520,000	2,415,000	2,606,000
団体会費	167,000	168,000	171,000	159,000	168,000
合 計	27,577,351	27,997,254	27,357,102	26,799,154	26,747,953
評価・課題					
市内の新規法人や団体に、会費の使途を周知し、入会依頼をしたことで、会員数の増加へとつながった。					
納入実績に大きな減少はなかったが、社協会費について理解をいただくため、主旨や使途の見える化を行い、広く周知をしていく必要がある。					
また、社協会費の納入に協力いただいている自治会の負担軽減について検討をしていく。					

社会福祉大会

【事業概要】

市内の社会福祉功労者や優良団体の表彰と講演会等を開催し、市内の自治会長や民生委員・児童委員、福祉推進委員、福祉委員などが参加している。

事業実績	
(1) 上田市社会福祉大会	10 月 31 日 (木) (サントミューゼ) 539 人参加
ア 内 容	
(ア) 式 典	
表彰者	40 人、6 団体
感謝	2 人、1 団体

(イ) 講演会 講 演：「地域の絆、みんなの笑顔！～こころ元気に生きる～」 講 師：鎌田 敏 氏 こころ元気配達人 こころ元気研究所 所長 (2) 長野県社会福祉大会 長野県社会福祉協議会 会長表彰（上田市のみ） ボランティア団体表彰 1 団体
評価・課題
式典及び講演会を開催し、多くの方に参加いただき、盛大に開催することができた。式典では、社会福祉功労者の表彰を行うことができた。 講演会は、講師から地域でのつながりや笑顔の大切さについてお話しいただき、参加者にも好評であった。 アンケートの結果では、体操などを交えた講演会は大変好評をいただくことができた。 今後、大会開催の主旨を踏まえ、地域福祉の推進につなげられるよう社会福祉大会のあり方について検討をしていく。

人材育成

【事業概要】

職員研修計画を策定し、専門性を高めるとともに視野を広げ、スキルアップを図るための研修会への積極的な参加を進めている。

事業実績	
(1) 新規採用職員研修	7 人参加
(2) 能登半島地震に対する派遣職員活動報告会	58 人参加
(3) 交通安全研修会	73 人参加
(4) 出前講座職員研修（いきいき体操）	11 人参加
(5) 虐待防止研修会	54 人参加
(6) 出前講座職員研修（モルック）	17 人参加
(7) 出前講座職員研修（ボッチャ）	12 人参加
(8) 資産運用セミナー	47 人参加
(9) 虐待防止研修会（具体的事例と身体拘束について）	66 人参加
(10) ハラスメント研修会	52 人参加
その他 担当業務に関する外部研修に参加については、必要に応じて参加した。	
評価・課題	
職員研修計画に基づき計画的に研修を実施し、視野を広げるための研修、階層ごとの体系立てた研修等によりスキルアップを図った。 また、人権尊重・法令遵守の観点から、ハラスメントや虐待の未然防止を目的とした研修を実施し、職員の意識啓発及び組織内のリスクマネジメント体制の強化に取り組んだ。 一部未実施の研修については、来年度以降計画的に研修を実施していく。	

出前講座

【事業概要】

自治会や企業、団体等からの依頼に基づき、社協職員が出向き、各種講座を無料で行っている。

事業実績					
実績推移		(単位：回)			
講座名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
上田市社協の事業説明等	2	4	2	3	3
障がいがある人の理解と体験	0	0	3	3	0
高齢者疑似体験	0	0	3	2	0
住民支え合いマップの活用方法	0	2	0	3	0
いきいき体操	5	6	12	22	18
エンディングノートについて	0	1	2	4	7
ボッチャ・モルック体験	0	0	12	31	54
タオル犬作り	0	1	3	4	5
小物づくり	0	0	1	3	2
着ぐるみ「うさたま」の出張	0	0	0	1	2
合計	7	14	38	76	91
評価・課題					
講座の内容を見直し、広報紙「社協うえだ」やホームページ等で事業周知を行い、自治会単位での依頼件数が増加した。					
地区担当職員が担当地区の出前講座に出向くことで、社協を知ってもらうきっかけとなっている。					
引き続き多くの方に利用していただくために、講座の内容を見直し、充実させていく。					

4 善意銀行

【令和6年度事業費】 3,755 千円

ふくふくひろば

【事業概要】

まだ使用できる子ども服を提供いただき、これから必要な子育て家庭にお譲りする子ども服のリユース事業である。

事業実績					
(1) 利用実績推移					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
寄附（点数）	4,108	7,719	8,333	8,013	7,686
持ち帰り（点数）	3,202	5,884	6,203	6,615	6,675
利用者（人）	456	732	885	1,044	1,066
(2) 週末開催 1回 持ち帰り点数 500点 62組 147人 来場					
評価・課題					
事業周知のため、市と連携して、上田市内の保育園で使用している情報伝達アプリや、市の資源・ごみ分別アプリの使用や活動を行った。また、企業が行う子ども服譲渡会に参加して周知活動を行った。					
子ども服が無駄なく必要な方に有効活用してもらえよう、企業や団体との連携を検討していく。					

善意銀行

【事業概要】

市民や企業、団体から寄せられた金品を、必要とされている方や学校、施設等へ受け渡す「橋渡し」を行っている。

事業実績					
(1) 実績推移					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
寄附（件）	230	200	198	287	308
現金（円）	34,586,197	1,569,282	1,447,582	1,994,069	1,870,006
物品（円）	957,750	1,211,722	1,241,455	755,819	1,240,212
寄附合計（円）	35,543,947	2,781,004	2,689,037	2,749,888	3,110,218
(2) 主な寄附品					
・食品（お米、レトルト食品等）、衣類、紙おむつ、尿取りパット、使用済切手、はがき					
評価・課題					
多くの寄附の申出を受け入れることができた。受け付けた寄附は、必要としている個人、団体等に受け渡しをすることができた。					
また、令和 6 年能登半島地震災害義援金、令和 6 年能登豪雨災害義援金の受付も行い、随時、中央共同募金会や石川県共同募金会を通して被災地へ義援金を送ることができた。					

フードドライブ事業

【事業概要】

食品ロスと食糧支援を結びつける活動として、家庭などにある使い切れない食品を募っている。寄附していただいた食品は、地域の福祉団体や子ども食堂など、必要としている団体や個人に届けている。

事業実績				
(1) フードドライブ				
食品ロスと食糧支援を結びつける活動として、家庭などにある使い切れない食品を募り、必要としている団体や個人に届けた。				
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
提供者（延べ人数）	346	651	384	656
受入（品）	10,913	14,839	6,689	13,900
受入総量（kg）	8,641	8,246	3,472	5,983
(2) フードドライブポスト				
㈱バローホールディングスと「食品ロス削減と食糧支援に向けた取組に関する協定」を締結し、令和 6 年 8 月 26 日にバロー秋和店に、食品等を募るフードドライブポストを設置した。				
	令和 6 年度			
受入（品）	83			
受入総量（kg）	17			

(3) 食糧配布会

令和 6 年 12 月 26 日に「ささえあい年末市」を開催し、フードドライブ事業や企業から御寄附いただいた食品を、市民に届ける活動を行った。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配布（回）	5	3	2	1
参加者（延べ人数）	518	377	497	456

(4) フードドライブ・米・C A R

社協まで食糧を取りに来るのが難しい高齢者への取組として、自治会と協力し、集会所で食糧配布（フードドライブ・米・C A R）を行った。

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配布（回）	2	2	3
参加者（延べ人数）	214	106	102

(5) もぐもぐサポーター（通称：もぐサポ）

ひとり親世帯に食品ロス削減サポーター（もぐサポ）に登録してもらい、食品ロス削減に取り組んだ。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
登録者（人）	42	133	185	146
払出（品）	1, 772	1, 651	15, 869	15, 449
払出総量（k g）	1, 371	873	5, 778	2, 507

(6) パンたべよ

企業から賞味期限前の余ったパンを御寄附いただき、もぐサポ会員に届けた。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
払出（品）	17	462	932	3, 115

評価・課題

フードドライブ事業は、個人や自治会、地区社協などにも御協力いただき、多くの関係機関と連携し、開催することができた。食品ロス削減につながるよう、更に事業周知を行っていく。

物価高騰により食糧が集まりづらくなっているため、企業等へフードドライブ事業の協力依頼を行っていく。

年々、食糧配布会に来る方が増えているが、相談支援につながらないことが課題である。

また、生活に困っている方で家計のやりくりの課題がある方については、“まいさぽ上田”など必要な関係機関につなげていく。

5 企画・広報

【令和 6 年度事業費】 3, 674 千円

【事業概要】

社協事業や福祉推進に関する調査研究を行うとともに、福祉関係情報の収集及びその周知を行っている。

事業実績

(1) 新たな事業の企画に向けた調査・研究

自治会からの要望や、市民からの意見をもとに、社協の特性を活かした出前講座の内容の検討や新たな事業の企画等を行った。

(2) 広報紙「社協うえだ」の発行

社協の広報や福祉に関する情報源として、講座、イベント、各地域で行われている福祉活動の様子などを掲載し、偶数月に市内全世帯、学校関係や社協法人会員へ配布した。

また、さまざまな人の意見を反映するため、市民で構成する広報委員会を実施した。

広報委員会：年 6 回 広報委員 5 人

(3) 「社協ホームページ」の活用

社協が行う各種福祉サービスをはじめ、ボランティア情報、災害支援情報、社協職員の募集など、さまざまな情報を発信した。

(4) 社協オリジナル軍手ィの製作及び販売

若い世代にもっと社協を知ってもらいたいとの思いから、社協オリジナル軍手ィを製作し窓口での販売を行った。

更に、市内高等学校 2 校の文化祭に参加し、社協のちらし配布や軍手ィの販売等を行い、若い世代へ社協の広報活動を行った。

実績推移

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
軍手ィ販売数（双）	131	88	19

(5) エンディングノート「絆」の販売

窓口や出前講座の他、市内書店等で、店頭販売を行った。

実績推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
エンディングノート販売数（冊）	134	13	89	62	176

(6) レクリエーション備品の貸出し

自治会や子ども食堂等へレクリエーション備品の貸出しを行った。

実績推移

（単位：件）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
輪投げ	0	0	2	26	25
的当て	0	0	2	25	22
ボッチャ	-	-	4	58	53
モルック	-	-	-	41	31
レクリエーションネット	0	0	0	4	4
エアボール	0	0	0	5	4

評価・課題

広報委員から意見を聴取し、市民の声を反映させた広報紙づくりに努めた。今後は SNS の活用を検討するとともに、ホームページについても、分かりやすく、親しみやすいページ作りを進める。引き続き、子育て世代や高校生・大学生といった若い世代向けの広報活動を行っていく。

6 希望の旅事業

【令和6年度事業費】 558 千円

【事業概要】

日ごろ、旅行に出る機会が少ない在宅の重度障がい者の方に、社会交流の場とレクリエーションの機会を作り、より生きがいを高めることを目的に一泊二日または、日帰りの旅行を実施している。

事業実績
9月30日、10月1日に、静岡方面へ一泊二日の旅行を実施し、8人（障がい者4人、介護者4人）が参加した。
評価・課題
開催時期を例年より早めたことで、気候も良く参加者から好評であった。 しかし、近年では参加者が固定化しているため、更なる周知と新しい企画を検討していく。 また、付添の介護者の高齢化により旅行中、介護者のみでは対応できない場面が増えてきていることから、今後、参加形態や職員の配置等を検討していく必要がある。

7 上田市ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

【令和6年度事業費】 4,893 千円

【事業概要】

子育ての手助けをしてほしい人と、子育てのお手伝いをしたい人が会員として登録し、子育ての相互援助を有償で行う会員組織である。

事業実績					
(1) 活動実績推移					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
活動(回)	1,331	1,507	1,801	1,481	1,193
活動時間(時間)	1,305.5	1,371.5	1,559	1,438	1354.5
利用会員(人)	279	320	372	338	356
(2) 会員数推移 (単位：人)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
依頼会員	435	447	425	417	429
提供会員	285	286	283	289	291
両方会員	54	55	48	62	63
(3) 前期講習会 4日間 30人参加					
(4) 後期講習会 4日間 32人参加					
(5) 会員交流会 2回 40人参加					
(6) フォローアップ研修会 14人参加					
(7) 登録会 1回 5組 10人参加					
(8) 提供・両方会員情報交換会 17人参加					

評価・課題
提供会員宅でのお子さんの預かりが原則であるが、子育てひろば等の公共施設で預かりを希望する会員が増えている。市に相談し、安全面に配慮しながら、より利用しやすくなるよう体制を整えていく。 また、発達障がいや不登校、保護者の育児不安などの困難な状況にある方の依頼が全活動の約3割を占めている。提供会員とのマッチングが難しいケースもあるため、関係機関と連携を取りながら、事業の利用支援を行っていく。

8 福祉推進事業

【令和6年度事業費】 4,391千円

社協お結びサポーター事業

【事業概要】

住民どうしによるふれあい、支え合いの仕組みづくりをお手伝いするために、平成28年度から丸子・真田・武石の3地区をモデル地区として「社協お結びサポーター」を配置した。

現在は、7地区(8人)に配置している。地域の福祉ニーズは何か、どんな福祉サービスが必要かをいっしょに考え、人と人を結ぶ、人と地域を結ぶ、人と機関を結びつけるお手伝いを行う。

事業実績					
活動実績		(単位：回)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
自治会への訪問	20	39	1	57	21
サロンへの訪問	2	12	2	5	68
子育て事業への参加	10	13	14	24	38
その他(会議への参加等)	40	31	104	56	14
評価・課題					
活動内容が、生活支援コーディネーターと重複するなど、お結びサポーターについて今後のあり方を検討していく必要がある。					

地区社協住民会議

【事業概要】

地域住民が主体となって、さまざまな地域福祉の課題について問題を協議し、相互に地域福祉に関心と理解を深め、福祉のまちづくりを目指すため、全16地区社協で開催している。

事業実績		
活動実績		
地区名	内容	参加人数
東部	講演「地域防災のすすめ」	45人
南部	講演「認知症の取材を通して思うこと」	31人
中央	意見交換会「こどもまんなか、地域と学校がつながろう」	43人
北部	講演「観光客から上田市民へ 川西地区で過ごした4年間」	55人
西部	講演「相続・・・誰にでも関わること」	30人

城下	意見交換会「今後の福祉推進委員の代わりとなる自治会活動について」	12 人
塩尻	意見交換会「災害時の要援護者の登録、地域福祉計画について」	37 人
川辺・泉田	講演「エンディングノートについて」	57 人
神川	講演「地域防災について」	50 人
神科	講演、グループワーク「日ごろの支え合いから災害にも強い地域づくりへ」	83 人
豊殿	講演「特殊詐欺の被害防止、その他防犯対策について」	51 人
塩田	講演「消費やトラブルを避けるために」	75 人
川西	講演「笑いで心の健康を」	70 人
丸子	講演「地域における防災・減災への取組」	70 人
真田	講演「身近なつながりで考える真田の未来」	69 人
武石	講演「共に生きる武石のつながりづくり」	52 人
評価・課題		
防災や子どもに関する内容など、身近に感じるテーマで住民会議を行った。講演だけでなく、意見交換やグループワークを取り入れるなど、地区ごと工夫を凝らした取組が行われた。 今後も企画段階から地区担当職員も積極的に参加、連携しながら住民会議を行い、福祉のまちづくりを推進していく。		

住民支え合いマップづくり

【事業概要】

住民支え合いマップは、支援が必要な人の困りごと、人のつながり等を住宅地図上に書き込むことで、地域の情報の見える化を図り、地域の支え合いにつなげていく。

また、住民支え合いマップは、日ごろの地域での支え合い活動や災害時の支援、共助の仕組みづくりに活用していただくことを目的としている。

事業実績					
住民支え合いマップ作成実施自治会状況			(単位：自治会)		
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
協定書締結自治会	176	182	182	183	183
完成自治会	212	225	228	232	214
更新自治会	90	112	92	103	90
評価・課題					
住宅地図にハザードマップを取り入れられるようになり、被害想定区域を意識した避難所の選定や、避難優先順位の検討ができるようになった。 自治会内で行っている支え合い活動に加え、防災活動と一体的になるような取組に、住民支え合いマップが活用されるよう、今後も周知が必要である。 更新が滞っている自治会や未作成の自治会については、引き続き、他の自治会の活用事例を広報紙やホームページ等で紹介しながら、地区担当職員が市と連携し、マップの更新や作成を促していく。 独自の支援マップを作成していた自治会の中に引き継ぎがうまくいっていない自治会があった。このような自治会へは、今後、社会福祉協議会や市が一体になって取り組んでいる「住民支え合いマップ」の作成を促していく。					

車いす、特殊寝台貸出事業

【事業概要】

上田市在住の高齢の方、身体に障がいのある方、一時的に歩行や日常生活を営むことが困難になった方に対し、診療、外出等に必要の場合に車いすや特殊寝台を一定期間無料で貸し出す。

事業実績					
(1) 車いす貸出事業 貸出件数			(単位：件)		
地区	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
上田	141	113	126	94	113
丸子	40	33	36	38	22
真田	8	9	21	9	17
武石	1	1	3	6	3
合計	190	156	186	147	155
(2) 特殊寝台貸与事業 貸出件数			(単位：件)		
地区	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
上田	12	8	4	6	2
丸子	3	2	1	2	1
真田	1	0	0	0	0
武石	8	1	4	1	2
合計	24	11	9	9	5

その他(高齢者福祉事業)

事業実績
(1) 真田地区センター ア 一人暮らし高齢者親睦会事業 一人暮らし高齢者親睦会事業は、従来どおり親睦会とふれあいの旅を実施した。 (ア) 親睦会(脳トレ、ボッチャ体験、講演会) 3回 延べ68人参加 (イ) ふれあいの旅(日帰りバス小旅行) 19人参加 (ウ) 「あじさい通信」の発行 3回 (2) 武石地区センター ア 高齢者サロン事業 (ア) 介護予防体操 24回実施 延べ915人参加 (イ) 楽しい会〜!! 6回実施 延べ131人参加 イ 武石地域敬老会事業 武石地域の65歳以上の方を対象に、社会への貢献に感謝し、長寿のお祝いと今後の健勝を祈念した式典と祝宴を開催する予定だったが、祝宴はコロナ等の感染防止のため中止し、地域の団体による演奏会を行った。 188人参加
評価・課題
(1) 真田地区センター 親睦会は、2回から3回に増やして実施した。参加した会員からは、心身のリフレッシュや相互の交流ができて良かったとの声を多数聞くことができた。 今後は、運転免許証返納等により移動手段がない会員が増えていることから、会場までの

送迎も含め、事業内容を工夫するとともに、参加しやすい環境を整えていく必要がある。

また、「あじさい通信」を発行したことで、親睦会やふれあいの旅の情報を会員に発信することができ、参加者増加につながった。

(2) 武石地区センター

ア 高齢者サロン事業

介護予防体操開催に合わせ2か月に1回の交流会（楽しい会～!!）を開催し、大勢の方に参加いただいた。

引き続き地域住民の生きがいと健康づくりの場の提供を行っていく。

イ 武石地域敬老会事業

依田窪南部中学校吹奏楽部による演奏と武石小学校6年生のお祝いの動画を鑑賞した。式典では、代表者の100歳に達する方に記念品を渡した。祝宴は中止となったが、地域の団体の美ヶ原飛龍太鼓保存会と2人組ユニットのピアノ演奏を披露していただき、大変好評であった。今後も継続してほしいとの要望をいただいている。

9 点字・声の広報発行事業(市受託事業)

【令和6年度事業費】 273 千円

【事業概要】

広報うえだ、うえだ市議会だより、社協うえだの内容を点訳やテープへの録音により、視覚障がい者へ情報提供を行う。

事業実績					
(1) 点字広報利用者 (単位：人)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
広報うえだ	24	12	12	9	9
うえだ市議会だより	9	7	8	6	5
社協うえだ	24	20	17	17	11
丸子地域自治センターだより	8	7	5	5	4
(2) 声の広報 (CD) 利用者 (単位：人)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
広報うえだ	12	11	8	8	8
上田市議会だより	21	9	8	8	6
社協うえだ	14	11	10	10	8
丸子地域自治センターだより	2	5	5	4	3
(3) 声の広報 (カセット) 利用者 (単位：人)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
広報うえだ	8	7	6	5	6
上田市議会だより	9	8	7	5	7
社協うえだ	20	8	7	7	6
丸子地域自治センターだより	9	3	3	3	3
評価・課題					
視覚障がい者への情報保障について、上田図書館、上田点字図書館の職員、既存の点訳・音訳ボランティアと情報交換を行った。今後も定期的に情報交換を行い連携をとっていきたい。					

10 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

【令和6年度事業費】 4,704 千円

【事業概要】

認知症の高齢者、知的または精神に障がいがある方で、判断能力が不十分なため、日常生活での福祉サービス利用の仕方や、金銭管理等がうまくできない方を対象とした支援を行っている。

事業実績					
(1) 日常生活自立支援事業					
ア 相談内容					(単位：件)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
認知症高齢者関連	1,124	1,002	1,578	1,669	1,305
知的障がい関連	3,526	3,916	4,788	6,405	3,099
精神障がい関連	3,206	3,727	3,624	4,438	3,834
その他	32	83	110	128	68
合 計	7,888	8,728	10,100	12,640	8,306
イ 契約状況					(単位：件)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規契約数	8	8	10	7	3
累計契約件数	232	240	250	257	260
解約件数	10	14	10	7	19
累計解約件数	155	169	179	186	205
現在の利用者数	77	71	71	71	55
ウ 支援回数					(単位：回)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
専門員・生活支援員援助回数	1,643	1,670	1,803	1,856	1,840
(2) 金銭管理・財産保全サービス事業 契約件数 0 件					
評価・課題					
関係者から金銭管理のみを希望する相談が多く寄せられており、福祉サービス利用援助が本来の役割であることの周知を引き続き行っていく必要がある。					
また、長野県社会福祉協議会の事業内容見直しにより、解約せざるを得ない利用者がおり、今後の支援をどうしていくかが課題である。					
青木村社会福祉協議会については、令和7年10月から単独で実施する方向となった。					

11 地域ふれあい事業

【令和6年度事業費】 31,495 千円

地域ふれあい事業（市補助事業）

【事業概要】

地域の特性に応じた住民参加による交流や助け合い活動等を通して、明るく活力ある地域を創造することを目的としている。

事業実績			
実施内容	自治会数	実施内容	自治会数
世代間交流に関する事業	132	敬老会	127
生きがいづくり事業（茶話会・健康体操含む。）	174	ボランティア活動	22
マップ作り・更新	29	環境整備事業	53
広報・啓発活動	12	子育て支援に関する事業	64
学習講座	63	その他	23
訪問活動（配食含む。）	112		
評価・課題			
地域ふれあい事業の推進役を担っていた福祉推進委員の制度が廃止となるため、自治会連合会の役員会や地区社協の住民会議などで、経過と今後について説明を行った。 令和7年度からの地域ふれあい事業が円滑に進められるよう、よりいっそう、社協の地区担当職員が、自治会福祉推進担当者、地域住民の方々と連携し、地域福祉の推進に努めていく。			

福祉推進委員

【事業概要】

地域における福祉の推進を図るため、地域ふれあい事業の推進役として各自治会から推薦いただき、社協から委嘱している。自治会役員、民生委員・児童委員とともに地域の実情に応じたさまざまな福祉活動を行っている。

事業実績	
福祉推進委員講習会 5回開催 131人参加	
講師 J A長野厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 健康運動指導士 岡田 克也 氏	
評価・課題	
自治会における役員のなり手不足や、福祉推進委員の地域ふれあい事業への関わり方が自治会によって大きな差がみられるなどの現状や課題を踏まえ、専門委員会を開催し検討した結果、令和7年1月31日の任期をもって、福祉推進委員制度の廃止を決定した。今後は、社協の地区担当職員がよりいっそう、相談・企画・運営に関わる体制作りが必要となる。 また、地域ふれあい事業の活動を行うに当たり、毎年、福祉推進委員向けの講習会を実施してきたが、令和7年度からは、自治会の中で選任された福祉推進担当者を対象に講習会を実施していきたい。	

12 上小圏域成年後見支援センター事業(上田市・東御市・長和町・青木村受託事業)

【令和6年度事業費】 31,135千円

【事業概要】

上小圏域（上田市・東御市・長和町・青木村）にお住まいの方を対象に、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力の不十分な方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように成年後見制度などの利用支援を行う。

事業実績					
(1) 広報業務 ア 成年後見制度等の普及及び啓発 実施回数 4 回、参加者合計 133 人 (2) 相談業務 ア 支援対象者及びその関係者からの成年後見制度等に関する相談対応 イ 地域における相談体制の強化を図るための研修会の開催 実施回数 4 回、参加者合計 108 人 (3) 利用促進業務 ア 行政職員等からの市町村長申立支援 上田市 16 件（うち、9 件については法人後見として受任） イ 成年後見、保佐及び補助の申立支援 新規相談 91 人、継続相談 169 人： 合計 260 人 ウ 第三者後見人の紹介に関すること。 後見人交流会の開催 参加人数：13 人 エ 後見人等候補者の推薦（受任調整） 適切な後見人等候補者推薦を行う小委員会を 11 回開催した。 検討事案件数 22 件 依頼先別件数、弁護士会 2 件、司法書士会 1 件、行政書士会 2 件、社会福祉士会 3 件、法人後見 14 件 オ 法人後見 後見報酬が見込めない方や、第三者後見人が引き受けることが困難な方に対して、上田市社会福祉協議会が法人として後見業務を実施した。 令和 6 年度新規受任件数 11 件（平成 25 年度からの 累計 116 件） 継続受任件数 68 件 カ 市民後見人の養成、受任調整及び監督業務 市民後見人 7 人（平成 31 年度からの 累計 12 件） (4) 後見人等支援業務 ア 親族後見人、第三者後見人等からの成年後見制度に関する手続支援 イ 親族後見人、第三者後見人等への相談支援 (5) 地域連携ネットワークの構築 高齢者・障がい者権利擁護地域連携ネットワーク協議会の開催 3 回 運営委員参加 (6) 権利擁護の促進に必要な事業 4 市町村との懇談会 5 回 (7) その他、センターの運営に関し、必要な事務 運営委員会 3 回、小委員会 11 回、市民後見推進委員会 1 回、その他の会議参加 9 回、研修会参加 14 回					
別表					
(1) 制度に関する相談件数及び相談者の状況 ア 相談件数 （単位：件）					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
新規相談	88	62	111	121	91
継続相談	523	237	259	272	169
合計	611	299	370	393	260

イ 方法別		(単位：件)			
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
来所	56	33	64	66	43
電話	415	176	219	217	147
訪問	106	70	61	98	60
ケース会議	25	13	13	7	2
その他	9	7	13	5	8
合計	611	299	370	393	260

ウ 対象者別		(単位：件)			
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
認知症高齢者	261	119	121	203	85
知的障がい者	60	21	20	45	32
精神障がい者	196	92	149	66	87
身体障がい者	10	3	8	2	2
複合	42	25	18	27	24
任意後見	7	14	23	25	8
その他	35	25	31	25	22
合計	611	299	370	393	260

エ 市町村別		(単位：件)			
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
上田市	446	243	304	285	242
東御市	106	37	32	17	9
長和町	20	3	0	48	7
青木村	19	12	7	30	1
その他	20	4	27	13	1
合計	611	299	370	393	260

(2) 法人後見業務の相談件数及び相談者の状況

ア 類型		(単位：件)			
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
後見	3, 186	2, 817	3, 411	3, 015	3, 043
保佐	6, 175	3, 834	3, 878	3, 770	3, 487
補助	111	225	404	459	484
合計	9, 472	6, 876	7, 693	7, 244	7, 014

イ 方法別		(単位：件)			
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
来所	684	644	512	441	446
電話	5, 213	3, 353	3, 775	3, 370	3, 332
訪問	3, 089	2, 561	3, 025	3, 059	2, 883
ケース会議	77	72	83	76	63
その他	409	246	298	298	290
合計	9, 472	6, 876	7, 693	7, 244	7, 014

ウ 対象者別					(単位：件)
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
認知症高齢者	1, 287	1, 654	1, 814	1, 954	1, 390
知的障がい者	4, 150	2, 500	3, 203	2, 822	3, 190
精神障がい者	2, 306	1, 728	2, 353	2, 142	1, 996
身体障がい者	4	0	0	0	0
複合	1, 604	989	323	214	286
その他	121	5	0	112	152
合計	9, 472	6, 876	7, 693	7, 244	7, 014

エ 市町村別					(単位：件)
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
上田市	7, 430	5, 736	6, 002	6, 017	5, 233
東御市	765	611	678	513	597
長和町	1, 277	408	952	659	1, 051
青木村	0	73	61	55	48
その他	0	48	0	0	85
合計	9, 472	6, 876	7, 693	7, 244	7, 014

評価・課題					
成年後見制度セミナーでは、成年後見人として活動する司法書士とノンフィクションライターを講師として、認知症と成年後見制度について講演をいただき、約 80 人の参加者があった。比較的福祉関係者の割合が多かったため、令和 7 年度は制度の普及啓発を重視し、市民が興味を持つような内容と周知を検討したい。 また、後見人等候補者の受任調整に関して、制度利用を希望される本人の心身や資産の状況、虐待が疑われるなど、複雑かつ困難な事例が増加傾向にあり、小委員会での議論がより活発なものとなった。 高齢者・障がい者権利擁護地域連携ネットワーク協議会の中で、事例を用いたグループワークを行い、各参加団体が業種を超えて情報を共有した。 令和 7 年度も引き続きネットワークの構築のために協議を行っていく。					

1 3 上田市生活就労支援センター“まいさぼ上田”事業（市受託事業）

【令和 6 年度事業費】

生活困窮者自立相談支援事業 22,909 千円 生活困窮者家計改善支援事業 3,726 千円
生活困窮者就労準備支援事業 3,867 千円

【事業概要】

上田市から生活困窮者自立生活支援事業、生活困窮者家計改善支援事業、生活困窮者就労準備支援事業を受託し、生活困窮者自立支援法に基づき、支援員が相談者の課題を把握し、相談者の状況に応じた支援プランを立てながらさまざまな支援を行っている。

事業実績					
(1) 相談者数及び相談件数の推移					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
新規相談者(人)	948	584	349	257	253
延べ継続相談者(人)	2, 056	2, 270	2, 046	1, 519	1, 365
延べ相談数(件)	9, 208	7, 933	7, 214	5, 984	5, 058

(2) 各種講座の開催

- ア ペアレント・トレーニング講座 10回 延べ72人参加
イ ペアトレ*ぷらす講座 6回 延べ37人参加
ウ ボランティア活動 12回 延べ113人参加
エ 体操くらぶ 12回 延べ24人参加
オ YOLO'S 勉強会 12回 延べ63人参加
カ My ふおと倶楽部 12回 延べ59人参加

評価・課題

各種講座を開催することで、支援対象者の社会参加につながった。引き続き講座を開催し、支援対象者が相談につながるきっかけを作るとともに、自立に向けて段階的にステップアップできる機会が提供できるように内容等の工夫をしていく。

ひきこもり状態にあり長期にわたり課題が解決できない事例や、長期離職者等の支援については、関係機関との連携や役割分担をしながら支援していく体制の構築が必要である。

家計改善支援事業については、家計管理に課題がある人への相談支援に加えて、家計の節約術を学ぶ機会を設けた。家計収支の均衡がとれなくなる前に、家計の管理方法を見出せるよう予防的な視点での支援も必要である。

1 4 有償在宅福祉サービス事業

【令和6年度事業費】 2,025千円

福祉移送サービス

【事業概要】

日常の外出において単独ではバス、タクシー等の公共交通機関の利用が困難な方に対して、スロープ付きの車いす対応の福祉車両で送迎を行う。

事業実績

(1) 上田地区センター

ア 登録者数

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用会員	103	63	70	77	83
協力会員	7	6	6	6	6

イ 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用(回)	688	587	594	551	440
利用会員(人)	174	180	178	177	140
協力会員(人)	46	58	67	72	32

(2) 丸子地区センター

ア 登録者数

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用会員	31	31	33	32	30
協力会員	10	10	8	8	8

イ 利用状況					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用（回）	457	677	541	657	676
利用会員（人）	141	189	176	184	191
協力会員（人）	58	58	65	65	64

(3) 真田地区センター

ア 登録者数 (単位：人)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用会員	11	10	11	12	13
協力会員	11	8	8	6	6

イ 利用状況

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用（回）	41	33	21	28	9
利用会員（人）	16	11	12	17	8
協力会員（人）	18	16	11	13	9

評価・課題

現在、協力会員の多くが仕事を持ち活動しているため、安定して依頼できる方が少ない。新規協力会員確保のため、社協うえだ等を通じ募集を行っている。

今後も定期的に研修会を開催し、協力会員の接遇や運転マナー等の向上に取り組んでいく。

ご用聞きサービス

【事業概要】

日ごろの生活の中で感じている困りごとを住民どうしの助け合いにより支援を行っている。

事業実績					
(1) 利用回数及び会員数					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用(件)	199	157	97	78	30
利用会員(人)	98	102	101	109	24
協力会員(人)	47	49	48	30	31
(2) 活動内訳					
買物代行 7 件 ごみ出し 3 件 草取り 9 件 雪かき 6 件 その他(換気扇シート貼り替え、灯油の補充等) 5 件					
評価・課題					
定期的に利用していた会員が介護保険制度につながり、施設入所となったことで、利用回数が半分以下となった。					
また、事業の利用がない会員が多く登録されていたため、会員の更新希望調査を実施した結果、87 人が退会となった。					
現在の利用会員の対応も含め、今後のご用聞きサービス事業の見直しを検討していく必要がある。					

1 5 心配ごと相談事業

【令和 6 年度事業費】 296 千円

【事業概要】

複雑化する社会から生じる生活上の問題に対して、さまざまな相談に応じる必要がますます高くなっている。

社協の相談事業は、どんな悩みでも、だれでも、いつでも、気軽に相談できる安心のネットワークの一環として、秘密厳守、相談はすべて無料で相談者とともに考え、良い解決方法が見つかることを願って実施している。

(1) 法律相談事業

弁護士によるさまざまな法的な悩みを解決する法律相談(予約制)

(2) 心配ごと相談事業

全市民を対象にさまざまな相談に応じ、関係機関と連絡を密にして、問題の解決に努める。
(介護、福祉サービス、家庭内の問題等)

事業実績					
(1) 法律相談 (上田・丸子)					
相談員：弁護士 1 人					
相談日：上田地区センター：毎月第 3 土曜日 午前 10 時～正午					
丸子地区センター：3 月を除く奇数月 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分					
相談内容：離婚、家族関係、相続、金銭トラブル、土地に関するトラブルなど					
(2) 心配ごと相談					
相談日：毎週月曜日から金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分					
相談内容：人間関係、消費者トラブル、ひきこもりなど					
(3) 相談件数推移 (単位：件)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
法律相談	42	55	73	61	66
心配ごと相談	35	40	70	67	78
評価・課題					
法律相談については、地域住民にとって、日々の生活の中での問題がどのような解決方法があるのか悩んだときに、法的な問題解決に向け、糸口を見つける場として重要な役割を果たしている。月によって定員を超えることもあり、次月の予約や別の相談機関への紹介を行った。					
心配ごと相談については、相談件数が増加傾向にある。身近な相談窓口として必要な機関に適切につながりだけでなく、相談者の気持ちに寄り添い、相談してよかったと思ってもらえるよう、担当職員のスキルアップにも力を入れていく。					

1 6 結婚相談事業

【令和 6 年度事業費】 1,159 千円

【事業概要】

独身男女の出会いを提供するお手伝いとして結婚相談や、婚活パーティーなどを行っている。
上田地区と丸子地区の 2 か所で相談を行っており、どちらの窓口でも登録を受け付けている。
登録・相談いずれも無料で行っている。

また、県内広域での紹介を希望される方は「ながの結婚マッチングシステム NAGANO ai MACTH」への登録も受け付けている。(登録料 2年間1万円)

事業実績					
(1) 相談件数推移					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談(件)	1,466	1,650	1,490	1,384	1,222
来所者(人)	506	389	515	463	411
男性登録者(人)	448	438	454	455	245
女性登録者(人)	149	150	179	170	99
お見合い(組)	60	42	49	41	46
結婚(組)	4	2	4	3	3
(2) お見合い企画 ア 婚活イベント 3回 延べ49人(男性25人、女性24人)参加 イ 男性向け事前セミナー 20人参加					
(3) ながの結婚マッチングシステム ア 登録者数 男性 31人、女性 8人 イ 相談来所者数 延べ40人					
評価・課題					
婚活イベントの際に結婚相談事業やマッチングシステムの紹介をしたが、登録者はあまり増えなかった。結婚相談事業やお見合い企画の周知方法について検討し、登録者が増えるよう努めていく。 また、令和5年度の課題であった相談員のスキルアップについては、長野県で開催した市町村結婚相談員対象の研修において、情報交換や他の取組事例について学ぶことで、一定の成果が得られた。今後、相談者との面談の際には、より細やかな対応を心掛けていく。 今後も、安心して利用していただけるように努めていく。					

17 たすけあい資金貸付事業

【令和6年度事業費】 1,065千円

たすけあい資金

【事業概要】

要保護世帯又はこれに準ずる世帯に対し、応急的に無利子で貸付けを行う制度で貸付限度額は5万円である。

事業実績					
貸付状況の推移					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談(件)	130	65	93	89	87
貸付(件)	90	40	42	27	27
貸付額(円)	4,080,253	1,828,000	1,522,460	1,094,300	1,054,821

評価・課題
貸付後も生活再建のめどが立たず、慢性的な困窮状態に陥っている方が多い。 また、生活再建をしていた場合でも、返済をしない方もおり、課題となっている。 滞納者には定期的に督促状の送付や自宅を訪問するなどして、生活状況の把握に努め、返済していただけるよう働きかけていく。所在不明者や返済が難しい方については、不能欠損処理を検討していく。 更に、償還開始時から滞納が続く方については、状況確認や生活相談を行い、適切な償還指導を行っていく。

生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

【事業概要】

低所得者世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付けと必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に、貸付を行っている。

事業実績					
(1) 生活福祉資金貸付状況の推移					
ア 相談件数			(単位：件)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総合支援資金	798	1,091	156	99	75
福祉資金	2,251	767	426	398	226
教育支援資金	6	8	14	13	37
不動産担保型生活資金	6	4	8	6	12
合 計	3,061	1,870	604	516	350
イ 貸付件数			(単位：件)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総合支援資金	480	385	52	2	0
福祉資金	749	209	84	10	5
教育支援資金	2	4	1	0	6
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0
合 計	1,231	598	137	12	11
ウ 貸付額			(単位：円)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総合支援資金	238,150,000	167,350,000	22,380,000	560,000	0
福祉資金	118,792,000	29,816,000	13,595,000	1,943,000	752,000
教育支援資金	1,019,000	2,211,000	358,000	0	4,092,000
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0
合 計	357,961,000	199,377,000	36,333,000	2,503,000	4,844,000
評価・課題					
離職による生活困窮や、物価高騰の影響により年金収入では生活費が不足するなどの相談が多く寄せられている。相談を行う中で、生活保護が適切だと思われる場合は、福祉事務所に同行し相談などを行ってきた。 また、“まいさぼ上田”が実施している家計改善支援事業も利用しながら家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握することで、相談者が自ら家計管理できるように支援していくことが必要である。					

18 緊急小口資金等特例貸付後の相談支援体制強化事業

【令和6年度事業費】 16,082 千円

【事業概要】

緊急小口資金等特例貸付の償還免除の承認を受けた方や、償還が困難な方など、特に支援が必要と考えられる借受人に対し、フォローアップ支援を行う。

事業実績	
相談状況（延べ人数）	（単位：件）
	令和6年度
電話相談	564
来所相談	115
訪問相談	433
合計	1,112
評価・課題	
特例貸付の借受人を対象に、事業の周知及び生活状況等の調査アンケートを実施した。返信があった方には、電話で、困りごとについて聞きとりを行い必要な支援につなげた。未返信の方については、滞納者や償還免除対象者を中心に電話や訪問をして、生活状況の確認をした。 また、年末に開催した食糧配布会にあわせて特例貸付の借受人に通知をお送りし、相談会を実施した。 電話や訪問に應對いただけでない方など、生活状況の把握が困難な方については、今後、他市町村社協の取組を参考にアプローチ方法などを検討していきたい。	

19 ボランティア地域活動センター事業

【令和6年度事業費】 1,124 千円 災害支援事業 1,010 千円

【事業概要】

地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深めることを目的に、活動に関する「相談」や「広報啓発」、「育成援助」と「活動のできる場」を提供し、必要な連絡調整を行う。

事業実績
(1) 各種講座の開催 ア お話し相手ボランティア養成講座 2回 31人参加 イ 傾聴ボランティア養成講座 基礎編 17人参加、応用編 12人参加 ウ 音訳ボランティア養成講座 基礎編 20人参加、応用編 21人参加 エ ユニバーサルスポーツ ボッチャ&モルック 延べ20人参加 オ 災害救援ボランティア養成講座 2回 延べ28人参加 カ モルック体験講座 16人参加 (2) 社会福祉普及校の指定 小学校21校、中学校12校（依田窪南部中含む。）、高等学校7校、計40校 (3) 出前福祉体験講座（高齢者擬似体験、車いす体験、アイマスク体験等） 小学校5件、中学校9件、高校1件、個人1件、計16件 延べ1,084人 (4) 福祉体験プログラムの展開 ア サマーチャレンジボランティア （ア）上田地区、丸子地区の児童・高齢者福祉施設でのボランティア活動 206人参加

(イ) 真田中学校の生徒を対象に「夏休み自由学習室」 42 人参加 イ スプリングチャレンジボランティア(対象 上田地区の中学生以上) 上田地区の児童・高齢者施設でのボランティア活動、上田市街地のゴミ拾い、切手整理、雑巾縫い 110 人参加 (5) 災害救援ボランティア ア 災害救援ボランティア登録者数 個人 78 人 団体 26 団体 イ 能登半島地震災害ボランティアバン 9 回 延べ 86 人参加 (6) 真田地域清掃ハイキング 1 回 110 人参加 (7) 上田ボランティア地域活動センター運営委員会の開催 2 回 (8) その他の活動支援 ア ボランティア連絡協議会の活動支援 イ ひざ掛けの配布(塩田、依田、長瀬、塩川地区、高齢者福祉施設) 410 枚 ウ 闘病生活を送るガン患者の方にタオルの帽子を提供 570 枚 (9) ボランティアニーズ状況 (単位：件)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
施 設	10	7	22	57	122
自治会	4	9	20	53	48
学 校	11	11	6	8	12
団 体	34	35	30	33	33
個 人	96	59	58	98	66
合 計	155	121	136	249	281
評価・課題					
市の防災訓練と合同開催予定であった災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練は、台風のため中止となった。 令和 6 年 1 月 1 日に発災した能登半島地震への被災地支援活動として、ワンボックスカーを活用したボランティアバンを実施し、個人ボランティアの方々と家屋の清掃、破損した家財の搬出などの活動を行った。 令和 6 年度は、道路状況により、ワンボックスカーを利用しボランティアバンを行ったが、令和 7 年度は、バスを利用し一度に多くのボランティアの力を被災地に届ける支援活動を実施したい。					

20 子育てひろば（地域子育て支援拠点事業）（市受託事業）

【令和 6 年度事業費】 6,767 千円（連携型 4,547 千円・一般型 2,220 千円）

【事業概要】

地域における子育て支援拠点として、安心して子育て・子育てができることを目的に親どうしの出会いと交流の場、子どもたちが自由にかかわりあう場の提供を行う。子どもを遊ばせながら母親どうしが交流し、情報交換ができる場所として、毎月親子で楽しめるさまざまな講座を企画している。

事業実績					
利用状況推移					
ア 大星子育てひろば					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者（人）	1,279	1,239	1,311	2,148	2,781
開館（日）	153	153	153	153	153
1日平均利用者（人）	8.4	8.1	8.6	14.0	18.2
イ 神科子育てひろば					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者（人）	1,518	1,184	1,431	2,338	1,912
開館（日）	153	153	153	153	154
1日平均利用者（人）	9.9	7.7	9.4	15.3	12.4
ウ 東塩田子育てひろば					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者（人）	1,917	1,773	1,960	2,398	2,786
開館（日）	153	153	153	153	153
1日平均利用者（人）	12.5	11.6	12.8	15.7	18.2
エ 清明子育てひろば					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者（人）	1,624	1,486	1,158	1,961	2,339
開館（日）	153	153	153	153	153
1日平均利用者（人）	10.6	9.7	7.6	12.8	15.3
評価・課題					
快適に過ごすために、夏や冬はひろばの利用が増える傾向がある。特に、夏休み中は、児童センターの1日開館日と重なり手狭になるため、神科子育てひろばは上野が丘公民館で行った。 大星子育てひろばも、開催日の一部を他の期間に移し、調整をしたことで「快適にすごせた。」と利用者に好評であった。 今後も熱中症対策等に気をつけ、個々の様子を確認しながら声がけをしていきたい。 子育てひろば担当者連絡会議を開いたことで、職員間の情報交換や課題の共有ができ、職員間で連携する重要性を感じた。今後も、支援のあり方を学び合う中で職員の資質向上に努めていきたい。					

2 1 上田市高齢者福祉センター管理事業（指定管理事業）

【令和6年度事業費】 38,648 千円

上田市高齢者福祉センター

【事業概要】

高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなど憩いの目的に利用されている。

また、市の高齢者介護課が主催する介護予防体操や自主事業として行っている初級パソコン教室があり、大勢の方々に利用していただいている。

事業実績					
(1) 利用状況の推移					
	令和2度	令和3度	令和4度	令和5度	令和6度
利用者（人）	37,075	31,905	28,410	43,865	42,673
開館（日）	247	194	259	291	286
1日平均利用者（人）	150.1	164.5	109.7	150.7	149.2
(2) 教養クラブ活動（19クラブ）延べ15,699人参加					
(3) 高齢者初級パソコン教室 84回 延べ464人参加					
(4) 第47回 高齢者文化祭（サントミューゼ） 18クラブ参加					
評価・課題					
利用者数は令和5年度とほぼ変わらないが、80代から90代の利用者が増加し、風呂での事故や体調不良等見守りが必要な方が増加したため、地域包括支援センターや市との連携が今まで以上に必要となってきている。 また、施設の環境整備面では、利用者が心地よく過ごしていただけるように努めているが、老朽化が年々進み修繕箇所が増えているのが課題である。					

上田市高齢者学園事業（市受託事業）

【事業概要】

「仲間づくり、健康づくり、生きがいくくり」を行動指針に、3つの学習分野（より良い社会参加・健康と生きがいくくり・豊かな長寿社会の実現）を柱に、地域の中でも主体的に社会参加し、地域社会の発展に寄与することを目指して学習に取り組んでいる。

また、講義評価アンケートを実施するとともに、学生からのさまざまな要望や意見を取り入れ、学園生の自発的な学園運営に生かしている。

事業実績			
(1) 学生数	1 年生	42 人、2 年生	38 人、3 年生 27 人
(2) 講義回数	1 年生	13 回、2 年生	13 回、3 年生 12 回
(3) 交流会	1 年生	塩田龍光院座禅体験・黒曜石ミュージアム	
	2 年生	諏訪大社	
	3 年生	軽井沢（熊野皇大神社他）	
(4) 1 日研修	1 年生	創造館	
	2 年生	鉄の館・さらしなの里資料館・県立歴史館	
	3 年生	直江津	
(5) 研修旅行	1 年生	伊豆下田方面（一泊）	
	2 年生	愛知県・三重県方面（一泊）	
	3 年生	福島県会津若松・喜多方方面（一泊）	
(6) クラブ活動	年 7 回（7 月～8 月 3 回、12 月～1 月 4 回） （フラダンス、健康体力作り、詩吟、スポーツ吹き矢、書道、川柳、童謡唱歌・愛唱歌）計 7 クラブ		
	3 学年合同クラブ発表会開催 サントミューゼ		
(7) 運営委員会	運営委員会 2 回		
(8) その他	講義評価アンケートの実施		

評価・課題
学習内容については3学年とも計画どおりに進めることができた。令和5年度以降は、入学希望者が増加しているが、今後も定員40人を満たすよう努力したい。 講義の後には毎回アンケートを実施し、学園生の意見も取り入れながら学習内容を検討していきたい。

2 2 上田市丸子老人福祉センター設置管理事業（市補助事業）

【令和6年度事業費】 16,836千円

【事業概要】

健康増進、教養文化の向上、各種レクリエーション、そして憩いの場として利用できる老人福祉施設である。

事業実績					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者(人)	11,585	9,096	6,683	12,109	12,094
開館(日)	262	203	306	305	298
1日平均利用者(人)	44.2	44.8	21.8	39.7	40.6
利用状況の推移					
評価・課題					
施設利用者が安心して安全に入浴できるよう、見回りや声がけを行うなど注意を払った。入浴利用やシニアクラブ等の活動を通して、高齢者の憩いの場として活用されている。 令和6年は酷暑であったが、集会室やロビーに冷房機器が設置されていないため、施設内が高温になり温度管理に苦慮した。施設は老朽化が進み、年々修繕箇所が増えており、耐震化も未実施であることなどが課題である。					

2 3 上田市真田老人福祉センター管理事業（指定管理事業）

【令和6年度事業費】 8,437千円

【事業概要】

高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなど憩いの目的に利用されている。

事業実績					
(1) 利用状況の推移					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者(人)	3,961	2,501	1,707	4,667	5,476
開館(日)	259	166	259	304	300
1日平均利用者(人)	15.3	15.1	6.6	15.4	18.3
(2) 体操教室 2回 延べ18人参加					
(3) 特殊詐欺防止講習会 1回 10人参加					

評価・課題
入浴設備の衛生管理に留意しながら、施設の管理運営に努めた。 建物本体の老朽化の進行が懸念されることから、点検、修理を行いながら安全・安心な利用環境が整うよう取り組み、魅力ある施設環境が維持できるよう適正な管理に努める。 また、利用促進に向けたイベントの開催として、七夕や職員の手作りカレンダーの配布を行った。今後も、内容等を工夫しながら取り組んでいく。

2 4 真田ふれあいバス運行事業(市受託事業)

【令和 6 年度事業費】 3,768 千円

【事業概要】

真田老人福祉センターへの利便を図るため、定期的にふれあいバスを運行している。公共のバス路線では対応できない地域に密着した路線を中心に運行している。

運行内容：25 人乗りマイクロバス 真田地域内巡回（迎え 1 回・送り 2 回）

事業実績					
利用状況の推移					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者（人）	2,035	2,302	1,521	2,224	2,639
運行（日）	177	187	190	189	189
1 日平均利用者（人）	11.5	12.3	8.0	11.8	14.0
評価・課題					
真田老人福祉センターへの利便を図るなど地域に密着した交通手段確保に向け、安全で丁寧な運行に努めた。					

2 5 上田市ふれあい福祉センター管理事業(指定管理事業)

【令和 6 年度事業費】 16,085 千円

【事業概要】

障がい者及び高齢者の社会参加の支援、市民のボランティア活動への参加を積極的に促進するとともに、市民と高齢者、ボランティアの交流を推進することを目的に、福祉の拠点として多くの方が利用されている。

事業実績					
利用状況推移					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者（人）	11,616	10,342	11,517	20,005	20,505
開館（日）	306	240	349	358	360
1 日平均利用者（人）	38.0	43.1	33.0	55.9	57.0

評価・課題
オンライン会議、講習会等がスムーズに行えるよう、会議室の Wi-fi 環境を整備し、利便向上に努めた。 建物の老朽化に伴う雨漏りや、自動ドアの不具合等の修繕を行うとともに、令和 9 年末の蛍光灯生産終了に伴い、照明の LED 化に向け、順次進めていく。 施設の耐震化が未実施であることや建物の老朽化による修繕の多さが課題である。

26 上田市真田総合福祉センター管理事業(指定管理事業)

【令和 6 年度事業費】 4,794 千円

【事業概要】

障がい者及び高齢者の社会参加の支援、市民のボランティア活動への参加を積極的に促進するとともに、市民と高齢者、ボランティアの交流を推進することを目的に、福祉の拠点として多くの方が利用されている。

事業実績					
利用状況推移					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者（人）	2,714	3,134	3,440	8,370	11,900
開館（日）	306	277	314	360	360
1 日平均利用者（人）	8.9	11.3	11.0	23.3	33.1
評価・課題					
施設の老朽化に対応しつつ管理運営に努めた。 コロナ禍前に比べて、利用者数は回復し、昼夜を問わず幅広い年齢層に利用されている。 老朽個所については、できる限り修繕等を行っているものの、講堂は未だ雨漏りが続いております。躯体への影響が懸念される。 今後も利用者の視点に立ち、魅力ある施設環境が維持できるよう適正な管理に努めるとともに、点検、修理を行いながら安全・安心な利用環境が整うよう取り組む。					

27 上市長瀬市民センター管理事業(指定管理事業)

【令和 6 年度事業費】 4,883 千円

【事業概要】

市民の福祉の増進に寄与することを目的として、会場の貸出し等の管理運営を行い、市民に広く利用されている。

事業実績					
利用状況推移					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者(人)	6,479	8,795	7,456	7,737	8,366
開館(日)	228	211	267	306	308
1 日平均利用者(人)	28.4	41.7	27.9	25.3	27.2

評価・課題

定期利用の団体は高齢化等で参加者が減少傾向であるが、新規の団体の利用が増えたことにより、施設利用者数及び利用団体数が、増加した。

施設の環境整備面では、建物の老朽化から修繕費が年々増加傾向であることが課題であり、利用者が安全で、安心して施設を利用できるように努める。



28 共同募金配分金事業

【令和6年度事業費】 13,967千円

【事業概要】

赤い羽根共同募金運動は戦後の混乱した経済社会状況の中、「国民助けあい」の精神を基に始められ、民間社会福祉事業の経済的基礎を確立する上で大きく貢献してきた。

現在、共同募金にお寄せいただく善意は、民間社会福祉施設や団体にとって貴重な活動財源になっており、地域福祉の向上に役立てられている。

毎年10月1日から各都道府県共同募金会が主体となって全国一斉に展開される共同募金運動に上田市社協も積極的に協力している。

事業実績					
実績推移 (単位：円)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
戸別募金	24,033,552	23,165,536	21,384,000	20,802,758	20,303,375
法人募金	1,507,297	1,576,083	1,556,815	1,421,802	1,446,317
街頭募金	570,612	767,137	596,122	570,669	619,013
学校募金	268,548	322,144	274,138	282,117	280,792
職域募金	202,820	194,754	179,700	188,057	193,385
その他の募金	28,838	128,075	113,022	154,242	134,048
合 計	26,611,667	26,153,729	24,103,797	23,419,645	22,976,930

上田地区共同募金配分事業

事業実績					
実績推移 (単位：円)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
戸別募金	16,873,031	16,346,958	15,097,423	15,002,147	14,635,505
法人募金	1,181,767	1,238,135	1,203,108	1,092,133	1,093,717
街頭募金	492,860	609,883	481,414	488,306	523,427
学校募金	208,998	256,128	235,347	214,332	211,203
職域募金	132,745	134,797	132,249	124,107	123,745
その他の募金	8,838	127,566	102,204	112,490	134,048
合計	18,898,239	18,713,467	17,251,745	17,033,515	16,721,645

丸子地区共同募金配分事業

事業実績					
実績推移	(単位：円)				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
戸別募金	4,201,556	3,997,380	3,583,060	3,350,803	3,241,641
法人募金	266,530	273,948	269,707	266,669	224,600
街頭募金	48,625	130,016	69,034	32,755	43,310
学校募金	34,652	35,591	19,914	46,993	42,424
職域募金	44,470	29,582	22,831	26,695	22,534
その他の募金	20,000	509	10,818	41,752	0
合計	4,615,833	4,467,026	3,975,364	3,765,667	3,574,509

真田地区共同募金配分事業

事業実績					
実績推移	(単位：円)				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
戸別募金	1,999,465	1,864,186	1,749,629	1,541,195	1,556,769
法人募金	56,000	54,000	74,000	53,000	118,000
街頭募金	15,522	16,123	25,659	18,289	40,849
学校募金	21,947	26,530	17,624	20,110	20,583
職域募金	19,356	21,397	14,258	17,715	27,897
その他の募金	0	0	0	0	0
合計	2,112,290	1,982,236	1,881,170	1,650,309	1,764,098

武石地区共同募金配分事業

事業実績					
実績推移	(単位：円)				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
戸別募金	959,500	957,012	953,888	908,613	869,460
法人募金	3,000	10,000	10,000	10,000	10,000
街頭募金	13,605	11,115	20,015	31,319	11,427
学校募金	2,951	3,895	1,253	682	6,582
職域募金	6,249	8,978	10,362	19,540	19,209
その他の募金	0	0	0	0	0
合計	985,305	991,000	995,518	970,154	916,678

評価・課題
年度当初に、ここ数年の募金実績を考慮し、配分計画や目標額を立て共同募金運動を実施した。自治会役員の皆様をはじめ、多くの住民の方々に御協力をいただいた。 募金実績としては、目標額を上回ることができたものの、戸別募金については、令和 5 年度に比べ実績額が減少している。使途が分かりにくいことや長引く物価高騰の影響を受けていると思われる。 引き続き、赤い羽根共同募金の使途の「見える化」をしていく必要がある。 また、広く住民に還元できるような事業を実施し、地域福祉の推進に努めていくことで、住民の方々に御協力いただけるよう働きかけたい。



事業実績	
(1) 上田地区	サロン支援事業 ア はじめてのダンス教室 2回 参加者 延べ 37 人 イ 身体ぽかぽか体操教室 4回 参加者 延べ 66 人 (シニアヨガ、ダンベル体操、エアロビクス他) ウ エアロビ&ズンバ教室 2回 参加者 延べ 43 人
(2) 丸子地区	みまもり(声かけ)訪問事業 65 歳以上の方のみの世帯、または同居されていても日中独りになる方で介護保険サービスを利用されていない方が、住みなれた地域で孤立することなく安心して暮らすことができるよう、ボランティアによるみまもり声かけ訪問を行う。 登録利用者 4 人 登録ボランティア 12 人 件数 76 件
(3) 武石地区	ア 高齢者弁当配達事業 75 歳以上の独り暮らしの方を対象に、ふれあいを深め地域の絆を感じていただくとともに良い年を迎えていただきたいとの趣旨で、年末に弁当 104 食を無料でお配りした。 イ お茶オケサロン 69 回、健康マーじゃん 98 回
評価・課題	
(1) 上田地区	サロン支援事業については、参加された方が自分の地域のサロン事業の参考となるよう、さまざまな内容の教室を年 8 回開催することができた。 中でも、はじめてのダンス教室については、上田染谷丘高等学校の生徒を講師に招き、若者の活躍の場ともなった。体を動かす教室が好評であり、共同募金の使途を周知するよい機会となったため、令和 7 年度以降も継続していきたい。
(2) 丸子地区	利用者が、地域コミュニティの中で孤立しないよう、訪問時に利用者の変化や気になることがあれば、関係者等に適切につなげた。 みまもり訪問事業は、地域住民のボランティアによって支えられているが、ボランティアの高齢化が進み、活動者の確保が課題である。
(3) 武石地区	ア 配達弁当は、武石地区民生委員・児童委員の協力をいただき配布した。今回も高齢者の皆さんから楽しみにしていたとお声をいただいた。民生委員・児童委員協議会でも、年末の重要な事業であると捉えていただいているので、引き続き実施したい。 イ お茶オケサロン、健康マーじゃんは、交流を図る上で効果的な事業であり、シニアクラブ会員を中心に週 2 回の活動を継続していきたい。

共募児童・青少年

共同募金配分金事業



事業実績	
(1) K I D' S ロディオガ教室 2 回 参加者 10 組 22 人参加	
(2) 体操くらぶ 12 回 参加者 延べ 196 人参加	
(3) ママのためのリンパケア 1 回 参加者 5 人	
(4) 親子ピラティス 2 回 参加者 23 組 48 人参加	
(5) ママカフェ 11 回 参加者 20 組 42 人参加	
評価・課題	
子育て中の親子を対象に、交流の場づくりとリフレッシュ、子育てに関わる情報交換を目的として、各種事業を実施している。 未就学児から低学年までとその保護者を対象とした各講座は、令和 5 年度から参加者が増えている。コロナによる外出自粛の生活から、外へ出る機会が増えたことによるものと思われる。 また、体操くらぶは、“まいさば上田”と協働で年間を通しての企画を開催した。 赤い羽根共同募金の事業であることを周知しつつ、今後も、子育て中の保護者の居場所づくりや、講座を企画し開催していきたい。	

共募住民全般

共同募金配分金事業



事業実績	
(1) 上田地区	
赤い羽根コットン☺smile 応援（尿取りパッド・生理用品贈呈）事業	
民生委員・児童委員を通じた尿取りパッドの贈呈 上田地区 16 地区 対象者 796 人	
高等学校への生理用品の贈呈 5 校 900 パック	
(2) 真田地区	
真田地域清掃ハイキング 1 回 110 人参加	
評価・課題	
(1) 上田地区	
赤い羽根コットン☺smile 応援事業の尿取りパッド贈呈については、在宅で尿取りパッドを使用されている方を対象に、民生委員・児童委員を通じてパッドをお渡しすることで、地域でのつながりづくりや対象者の在宅生活の一助となった。 生理用品の贈呈については、希望のあった市内の高等学校 5 校に生理用品をお届けし、トイレに設置してもらうことができた。生理用品の仕分けを高校生といっしょに行い、学校内でも生徒自身が補充をすることで、「生理の貧困」を自分のこととして考えるきっかけ作りができた。 事業の実施状況について、今後も民生委員・児童委員や高等学校と連携し、実情を把握していく。	
(2) 真田地区	
清掃ハイキングを春と秋の 2 回実施していたが、秋は他の地域のイベントや学校行事と重なるなどして参加者が少ないため、春 1 回の開催とした。 ボランティア団体を始め、学校、企業と幅広く参加者が集まり、清掃活動を通して地域住民の良い交流の場となっている。	

団体事業の育成

共同募金配分金事業



【事業概要】

各種福祉事業を推進するため、協力費として活動費を助成し、団体育成に努めている。

事業実績			
(1) 上田地区 活動費助成団体		(単位：円)	
団体名	助成金額	団体名	助成金額
上田地域福寿クラブ連合会	200,000	うえだ市民ふれあい広場実行委員会	138,000
NPO 法人上田市身体障害者福祉協会	200,000	上田地区保護司会	108,000
上田市赤十字奉仕団	95,000	こどもとおとなの居間 だらっと	200,000
上田ボランティア連絡協議会	34,000	上小手話サークル	71,000
上田地区更生保護女性会上田支部	50,000	上小東御生活と健康を守る会	200,000
モチーフの会	67,000	チャイルドラインうえだ運営委員会	150,000
上田市子ども会育成連絡協議会	68,000	豊殿デマンド交通委員会	170,000
上田市視覚障がい者福祉協会	75,000	豊殿ふれあいサロン運営委員会	200,000
上田市肢体不自由児者父母の会	29,000	〇〇カフェやすらぎ	29,000
上田市聴覚障害者協会	56,000		
		合計 19 団体	2,140,000
(2) 丸子地区 活動費助成団体		(単位：円)	
団体名	助成金額	団体名	助成金額
丸子地域シニアクラブ	162,500	上田市食生活改善推進協議会丸子ブロック	28,000
上田市丸子地区赤十字奉仕団	19,500	丸子モチーフの会	53,500
丸子ボランティア連絡協議会	74,500	Eーキャップの会	79,000
上田地区更生保護女性会丸子支部	36,500	傾聴ボランティア・まるこ	56,900
		合計 8 団体	510,400
(3) 真田地区 活動費助成団体		(単位：円)	
団体名	助成金額	団体名	助成金額
真田地域シニアクラブ	30,000	グリュックの会	20,000
上田市真田地区赤十字奉仕団	30,000	さなだ支え合い会議	20,000
真田地域ボランティア連絡協議会	70,000	大福会	20,000
上田市食生活改善推進協議会真田ブロック	30,000	ふれあい広場実行委員会	70,000
おとぎの会	22,000	ミミールの会	10,000
おもちゃ図書館くるくるさなだ	30,000		
		合計 11 団体	352,000
(4) 武石地区 活動費助成団体		(単位：円)	
団体名	助成金額	団体名	助成金額
武石シニアクラブ	40,000	武石えん結びの会	20,000
武石身体障害者福祉協会	15,000	武石地区社会福祉協議会	119,678
武石ボランティア連絡協議会	15,000	武石もみじ会	30,000
上田地区更生保護女性会武石支部	10,000	ふれあいカフェ武石	13,000
		合計 8 団体	262,678

(5) 上田市全域 活動費助成団体		(単位：円)	
団体名	助成金額	団体名	助成金額
上田市自治会連合会	211,000	上田市民生委員・児童委員協議会	333,000
		合計 2 団体	544,000

2 9 地域包括支援センター事業(市受託事業)

【事業概要】

地域住民が住み慣れた自宅や地域で生活できるように、必要な介護サービスや保健福祉サービス、その他日常生活支援などの相談に応じる機関である。

神川地域包括支援センター事業

【令和 6 年度事業費】 31,263 千円

事業実績					
(1) 相談件数の推移			(単位：件)		
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
総合的な相談・支援	1,460	1,404	1,203	1,963	1,670
権利擁護	486	681	645	496	1,318
介護予防ケアマネジメント	1,508	2,148	3,000	3,862	3,552
包括的・継続的ケアマネジメント	700	567	845	1,351	1,036
(2) 事業内容の推移			(単位：件)		
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
夜間緊急相談	124	148	200	243	269
介護予防活動	23	17	103	156	185
会議・研修等	103	116	121	139	167
医療・関係機関との連携	132	411	401	633	184
介護支援専門員に対する支援	7	3	24	35	42
実態把握	128	86	99	112	122
介護予防プラン作成	3	1	2	4	3
介護予防支援・介護 予防ケアマネジメント 支援計画	2,880	2,673	2,648	2,796	2,800
(3) その他					
ア 総合相談業務（夜間、休日等は、携帯電話にて 24 時間緊急対応体制）					
イ 地域ケア会議の開催（3 回）					
ウ 認知症サポーター養成講座（5 回）					
エ 地域リハビリテーション活動支援事業への参加及び活動支援（15 か所）					
オ 地域サロン等での介護予防体操や講話（13 回）					
カ 生活支援体制整備事業における第 2 層協議体、地域資源の把握等					
キ 福祉教育の推進（看護学生等の実習受入れ）					
ク 包括だより発行					

評価・課題
(1) 総合相談業務においては、関係機関と連携を図りながら適切な対応ができるよう取り組んだ。特に増加する認知症相談、退院支援相談等の新規相談においては早期訪問、早期対応を心がけた。 (2) 高齢者世帯・おひとり暮らし台帳に基づいた実態把握訪問を通じ、支援を必要とする住民の早期発見、地域課題の把握が行えるよう、よりいっそう努力していきたい。 (3) 多重問題を抱えた家族の支援、支援困難ケース、身寄りのない方の支援が増えており、長期的、継続的に支援が必要なケースが増えている。 (4) 地域包括ケアシステム推進、生活支援体制整備事業の充実を図るため、地域住民や関係機関と積極的な関わりを持ち、住民のニーズ、地域資源の把握に取り組んでいく。

丸子地域包括支援センター事業

【令和6年度事業費】 32,574 千円

事業実績					
(1) 相談件数の推移	(単位：件)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総合的な相談・支援	2,078	1,796	2,525	2,962	3,558
権利擁護	339	254	750	783	954
介護予防ケアマネジメント	5,298	4,832	3,616	3,437	3,910
包括的・継続的ケアマネジメント	838	726	850	654	1,367
(2) 事業内容の推移	(単位：件)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
夜間緊急相談	259	166	142	148	149
介護予防活動	32	29	20	69	67
会議・研修等	238	177	430	556	418
医療・関係機関との連携	358	292	633	763	659
介護支援専門員に対する支援	25	23	26	25	37
実態把握	129	94	110	110	96
介護予防プラン作成	16	10	17	11	2
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画	3,022	2,856	2,923	2,913	3,035
(3) その他					
ア 総合相談業務（夜間、休日等は、携帯電話にて24時間緊急対応体制）					
イ 地域ケア会議の開催（3回）					
ウ 認知症サポーター養成講座（1回）					
エ 地域リハビリテーション活動支援事業への参加及び活動支援（43か所）					
オ 地域サロン等での介護予防体操や講話（5回）					
カ 生活支援体制整備事業における第2層協議体、地域資源の把握等					
キ 福祉教育の推進（看護学生等の実習受入れ）					
ク 包括だより発行					

評価・課題
(1) 単身・高齢者のみの世帯が増加し、地域からもさまざまな生活課題を抱えた相談ケースが増加する状況の下、地域の関係者をはじめ、あらゆる関係機関との連携を図りながら迅速かつ適切な相談支援に努めた。 (2) 地域ケア推進会議では、認知症についての勉強会を実施し、認知症への理解促進とともに、高齢者の人権と尊厳を図りながら地域共生社会の実現に向けて取り組むことの大切さについて、参加者とともに学んだ。 (3) 個別支援と地域支援を同時に担う地域包括支援センターの役割がますます増大する中、日々の実践やさまざまな課題を生かしながら、個別のニーズや地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を進めていく必要がある。

真田地域包括支援センター事業

【令和6年度事業費】 26,612 千円

事業実績					
(1) 相談件数の推移 (単位：件)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総合的な相談・支援	1,682	1,406	2,405	1,848	2,003
権利擁護	192	209	419	208	235
介護予防ケアマネジメント	2,454	2,599	2,094	1,982	1931
包括的・継続的ケアマネジメント	533	526	529	655	839
(2) 事業内容の推移 (単位：件)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
夜間緊急相談	78	94	115	69	88
介護予防活動	57	59	83	147	170
会議・研修等	142	301	460	485	496
医療・関係機関との連携	404	475	369	404	546
介護支援専門員に対する支援	5	20	164	157	179
実態把握	83	72	66	79	83
介護予防プラン作成	14	11	7	3	3
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画	2,010	1,997	1,868	1,926	1,961
(3) その他					
ア 総合相談業務（夜間、休日等は、携帯電話にて24時間緊急対応体制） イ 地域ケア会議の開催（11回） ウ 認知症サポーター養成講座（2回） エ 地域リハビリテーション活動支援事業への参加及び活動支援（16か所） オ 地域サロン等での介護予防体操や講話（9回） カ 生活支援体制整備事業における第2層協議体、地域資源の把握等 キ 福祉教育の推進（看護学生等の実習受入れ） ク 包括だより発行 ケ 真田地域包括独自事業の開催 (ア) 男性の料理教室 8人参加 (イ) いまさら聞けない暮らしのポイントスキルアップ講座 14人参加					

(ウ)上田市地域リハビリテーション活動支援事業 (エ)みんなで交流会：17人参加 (オ)真田地域介護予防サポーター等視察交流会2回 陽だまりの里活性化組合11人参加 出早コミュニティ開放の会18人参加
評価・課題
(1) 高齢者に対する地域の総合相談窓口として、関係機関との連携を図りながら、迅速な対応に心がけた。相談内容では認知症や虐待等、権利擁護に関する相談のほか多重問題を抱えた家族の支援等、支援困難ケースに該当する相談が増えており3職種及び市や医療機関等、各関係機関との連携を心がけた。今後も関係機関と連携を図りながら対応していきたい。 (2) 高齢者世帯・おひとり暮らし台帳に基づいた実態把握訪問の実施を心がけた。今後も支援を必要としている人の早期発見、地域住民のニーズ把握のため努力したい。 (3) 真田地域包括独自事業として、さまざまな講座等を開催した。独居世帯の増加や高齢者世帯における男性の介護者が増えている現状から、今後も地域の高齢者の介護予防・自立支援に向けた支援を提供していきたい。 (4) 生活支援体制整備事業においては、住民主体活動の情報収集とニーズの把握に努め、それらの情報の可視化（ポスター作成）を行い、地域内外で活動する他団体と協力して発表と研修の場を設けた。 その後、自治会単位での懇談会を開催し、身近な情報と課題を共有することで顔の見える関係づくりに努めた。 また、各団体や自治会との横のつながりづくりを行い、ニーズとサービス及び各種活動のマッチングを行った。今後も生活支援体制整備事業の推進を図っていきたい。

武石地域包括支援センター事業

【令和6年度決算額】 24,918千円

事業実績					
(1) 相談件数の推移	(単位：件)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総合的な相談・支援	1,058	1,080	1,165	1,103	951
権利擁護	31	35	82	25	20
介護予防ケアマネジメント	1,845	2,017	1,793	1,320	1,522
包括的・継続的ケアマネジメント	309	279	316	452	238
(2) 事業内容の推移	(単位：件)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
夜間緊急相談	47	26	26	15	24
介護予防活動	46	39	70	77	40
会議・研修等	68	65	156	78	73
医療・関係機関との連携	64	22	80	135	77
介護支援専門員に対する支援	6	7	10	7	11
実態把握	76	60	99	172	173
介護予防プラン作成	10	11	6	7	5
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画	1,869	1,934	1,832	1,805	1,688

(3) その他

- ア 総合相談業務（夜間、休日等は、携帯電話にて 24 時間緊急対応体制）
- イ 地域ケア会議の開催（4 回）
- ウ 認知症サポーター養成講座（2 回）
- エ 地域リハビリテーション活動支援事業への参加及び活動支援（22 か所）
- オ 地域サロン等での介護予防体操や講話（5 回）
- カ 生活支援体制整備事業における第 2 層協議体、地域資源の把握等
- キ 福祉教育の推進（看護学生等の実習受入れ）
- ク 包括だより発行

評価・課題

- (1) 総合相談事業では、利用者の抱えている課題を正確に把握することで、利用者の自立に向けた支援を行うことができた。また、関係機関との連携会議を毎月 1 回行い、利用者の状況を把握することで、より良い支援を行うことに努めた。困難事例の対応については、市の担当や地域の居宅介護支援事業所と連携を図りながら問題解決に向けた支援に取り組んでいる。
- (2) 生活支援体制整備事業では、地域の現状と今後の課題、地域の支え合いに向けた活動等について住民とともに考える「地域支え合いづくり懇談会」を 2 自治会で開催した。未開催の自治会については、地域の支え合い活動の重要性について、関心を持ってもらうことで開催につなげていきたい。
- (3) 地域リハビリテーションの立ち上げのための支援を行い、3 か所増やすことができた。また、地域のサロンからの依頼により 5 か所の集まりで介護予防活動を支援することができた。また、「楽しい会〜!!」を再開し、地域の高齢者の生きがい・健康づくりを行うことができた。今後も、市と住民ボランティアの方々と協力して活動を継続できる体制を構築していく必要がある。

30 通所介護事業

【事業概要】

デイサービスセンターでは、介護支援が必要な方等が、できる限り在宅で自立した日常生活が送れるよう、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図るお手伝いをしている。

また、その家族の身体的、精神的な負担を軽減できるようなサービスを提供している。

中央デイサービスセンター事業

【令和 6 年度事業費】 43,486 千円

事業実績

(1) 利用者推移

(単位：人)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者	5,818	5,175	4,751	5,004	4,846
1 日平均利用者	19.1	17.0	15.9	16.1	15.8
関わったボランティア	24	41	0	29	25

(2) 主な行事及び参加者数

- ア お花見（諏訪部公園） 14 人参加
- イ 花桃（ドライブ） 23 人参加

ウ	藤見学(国分寺)	11 人参加
エ	つつじ見学(真田)	27 人参加
オ	あやめ見学(豊殿)	12 人参加
カ	坂城バラ園見学	10 人参加
キ	夏祭り	52 人参加
ク	敬老会	20 人参加
ケ	避難訓練	21 人参加
コ	運動会	36 人参加
サ	お楽しみ会	67 人参加
シ	ひな祭り	14 人参加
ス	誕生日会(随時開催)	該当者
評価・課題		
利用者に快適で安心した気持ちで過ごせるように、相手に寄り添い、傾聴やコミュニケーションを多くもつよう心がけ、業務に取り組んだ。 居宅サービス計画書から利用者や家族が求めていることを考え、個々のニーズに合ったケアを意識した。 また、月 2 回程度、体操ボランティアの協力により、身体を動かす機会を増やした。 今後の課題として、職員全体での情報共有やケアの統一が不十分なところがあったため、定期的に職員会を開催して、情報共有・意見交換を行う必要がある。個々の利用者への対応を充実できるよう職員全体で改めて介護の基本を見直し、質の良いサービスの提供に努めていく。		

神川デイサービスセンター事業

【令和 6 年度事業費】 55,540 千円

事業実績					
(1) 利用者推移		(単位：人)			
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者	4,232	4,480	5,164	5,817	6,634
1 日平均利用者	13.6	14.4	16.6	16.8	21.7
関わったボランティア	5	47	20	164	125
(2) 主な行事及び参加者数					
ア	水仙見学 60 人参加				
イ	桜見学 79 人参加				
ウ	花桃・鯉のぼり見学 46 人参加				
エ	つつじ見学 23 人参加				
オ	藤の花見学 44 人参加				
カ	バラ見学 71 人参加				
キ	蓮見学 64 人参加				
ク	七夕飾り 70 人参加				
ケ	夏祭り 63 人参加				
コ	敬老会 23 人参加				
サ	お買い物ツアー 39 人参加				
シ	運動会 93 人参加				
ス	忘年会 62 人参加				
セ	繭玉作り 20 人参加				
ソ	節分 22 人参加				
タ	桜餅作り 21 人参加				

評価・課題
利用者が快適で安心した気持ちで過ごせるように、職員が常に笑顔を意識し、業務に取り組んだ。 介護支援専門員の作成する居宅サービス計画書に基づき、利用者のニーズを把握し、誰でも取り組みやすい運動を取り入れるなど、工夫しながら利用者が自然に体を動かせるように促した。 外出行事を増やしたり、利用者が自らおやつ作りを行うなどレクリエーションの内容を見直した。 今後も、利用者に安心して利用していただけるように、送迎時は時間にゆとりを持って安全運転を心がける。 専門的な知識を深めるための研修を実施し、職員のスキルアップが図れるように努めていきたい。

3 1 居宅介護支援事業

【事業概要】

介護保険に関わる各種申請の代行や、介護サービスを利用する際に相談窓口となる事業所である。利用される方や御家族が居宅において、安全・安心に生活ができるよう居宅サービス計画(ケアプラン)を作成し、適切なサービスが受けられるように、提供事業者と連絡・調整している。

介護相談センター事業

【令和6年度事業費】 24,542 千円

事業実績					
事業実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者(人)	1,892	1,965.5	1,470.5	1,121	1,064
ケアプラン作成(件)	1,662	1,818.5	1,356	1,051	966
介護予防支援(件)	4	37	74	68	61
認定調査(件)	33	31	14	9	7
評価・課題					
新規利用者を含め、担当件数を増やすことができず、収支状況の改善にはつながらなかった。 利用者の状況については、毎朝の定例ミーティングや随時の検討等により、所内での情報共有を十分に図ることができた。利用者アンケートでも、おおむね良い評価をいただくことができたのは、職員の連携や対応がスムーズであったことによる成果と考える。 運営指導を経て、改めて書類の確認や職員研修(OJT)に時間を設け、事務改善を図った。 高齢者虐待、感染症予防の委員会を設置し、机上訓練、研修を実施した。BCP(業務継続計画)については、研修及び机上訓練を実施した。必要に応じて内容の見直しを行っていく。 3 介護相談センターの共通課題として、利用者の確保が難しく収支状況が改善しないため、今後の運営についても検討が必要だと思われる。					

神川介護相談センター事業

【令和6年度事業費】 18,259 千円

事業実績					
事業実績					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者（人）	1,228	1,110	1,235	1,237	1,151
ケアプラン作成（件）	1,114	1,046	1,175	1,160	1,055
介護予防支援（件）	30	44	47	47	54
認定調査（件）	13	15	10	0	0
評価・課題					
継続的に医療との連携を密に取っている成果として、病院から直接紹介を受け、在宅生活へ向けて調整を図ったケースが多くあった。 骨折や体調不良による入院後、そのまま施設入所になるケースや亡くなるケースも多かったため、令和5年度に比べ利用者数が減となっている。 高齢者虐待、感染症予防の委員会を設置し、机上訓練、研修を実施した。また、BCP（業務継続計画）の周知と机上訓練も行った。職員のスキルアップを目指し、集合研修やオンラインでの研修にも積極的に参加できた。 利用者の状況については、事例検討やミーティングを実施し、常に職員間で情報共有を行った。今後も新規利用者の獲得に向け、各方面に働きかけていく。					

丸子介護相談センター事業

【令和6年度事業費】 16,724 千円

事業実績					
事業実績					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者（人）	1,218	1,261	1,313	1,064	1,099
ケアプラン作成（件）	1,167	1,176	1,135	986	982
介護予防支援（件）	26	32	44	49	44
認定調査（件）	9	12	12	6	3
評価・課題					
各地域包括支援センターへの声かけを重点的に行ってきたことで、新規件数を増やすことができたが、入院・入所・死亡・利用なしが多く、ケアプラン作成数は伸ばすことができなかった。ただし、令和7年度のケアプラン作成増につながる体制は整い始めている。 また、多様なケースを受けたことで、職員のスキルアップにつながり、利用者・家族に、分かりやすく丁寧な説明をすることができた。 高齢者虐待、感染症予防の委員会を設置し、机上訓練、研修を実施した。また、BCP（業務継続計画）の周知と机上訓練も行った。職員のスキルアップを目指し、集合研修やオンラインでの研修にも積極的に参加できた。					

3 2 児童館・児童センター事業(指定管理事業)

【令和6年度事業費】 62,592 千円

【事業概要】

地域の児童に健全な遊びの場を提供し、健康で心身豊かな児童の育成を図ることを目的としている。地域の交流の拠点として地域、ボランティア等の方々に支えられ運営を行っている。

各館では、充実した遊びや運動が楽しめるよう、年間を通してさまざまな取組を行っている。また、保護者が就労等で留守家庭となる場合は、小学校から直接来館して利用できる。

事業実績

(1) 各児童館・児童センター

ア 朝日が丘児童館利用状況推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者(人)	6,892	7,069	5,817	6,735	5,440
開館(日)	287	287	283	287	287
1日平均利用者(人)	24.0	24.6	20.6	23.5	19.0

イ 緑が丘児童館利用状況推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者(人)	4,957	4,228	2,755	3,204	3,005
開館(日)	287	282	286	287	287
1日平均利用者(人)	17.3	15.0	9.6	11.2	10.5

ウ 川辺町児童センター利用状況推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者(人)	18,112	19,218	19,123	21,630	20,481
開館(日)	287	287	287	287	287
1日平均利用者(人)	63.1	67.0	66.6	75.4	71.4

エ 秋和児童センター利用状況推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者(人)	3,940	3,496	1,241	1,633	3,619
開館(日)	287	287	287	287	287
1日平均利用者(人)	13.7	12.2	4.3	5.7	12.6

オ 東塩田児童センター利用状況推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者(人)	9,714	7,249	5,771	8,362	8,892
開館(日)	287	287	287	287	287
1日平均利用者(人)	33.8	25.3	20.1	29.1	31.0

カ 大星児童センター利用状況推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者(人)	14,209	17,697	19,280	21,344	18,830
開館(日)	287	287	287	287	287
1日平均利用者(人)	49.5	61.7	67.2	74.4	65.6

キ 神科児童センター利用状況推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者（人）	17,599	24,261	20,498	21,740	29,696
開館（日）	287	287	287	287	287
1 日平均利用者（人）	61.3	84.5	71.4	75.7	103.5

ク 神川児童センター利用状況推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者（人）	9,258	8,522	10,718	11,844	10,758
開館（日）	287	287	282	287	287
1 日平均利用者（人）	32.3	29.7	38.0	41.3	37.5

ケ 下丸子児童館利用状況推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者（人）	188	651	171	256	379
開館（日）	201	169	85	237	237
1 日平均利用者（人）	0.9	3.9	2.0	1.1	1.6

(2) 児童館・児童センター（9 館）利用状況推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者（人）	84,869	92,391	85,374	96,748	101,100
開館（日）	2,497	2,460	2,371	2,533	2,534
1 日平均利用者（人）	34.0	37.6	36.0	38.2	39.9

(3) 地区懇談会 8 児童館・児童センター（下丸子児童館を除く。） 延べ 107 人参加

(4) その他

児童館だよりを発行し小学校に配布した。

評価・課題

猛暑対策が最重要課題となっている。特に夏休み中は、冷房のある部屋が限られ、過密な状況の中で一日を過ごしている。大星児童センターや神科児童センターは、午前中子育てひろば開催と重なるため、ひろば開催日の一部を他の期間に移したり、場所を変えるなど調整を行った。児童にとって、よりよい環境整備を進めていきたい。

多様な児童が増えているため、外部研修や事例検討会等を行いながら、学びを深めてきた。特性のある児童への理解や、周りの児童の育ちにもつながる支援を進めていくため、小学校との連携を積極的に図っていき児童や保護者の安心、安全につなげ、信頼できる児童館・児童センターとなるよう努めていく。

3 3 その他の事業

団体事務局

(1) 上田地区センター

ア 上田市高齢者クラブ連合会

4 地域（上田、丸子、真田、武石）の活動の交流や長野県シニアクラブ連合会の事業への参加等を行っている。

- (ア) 高齢者クラブ数 71 単位クラブ 会員 3,218 人
- (イ) 長野県シニアクラブ連合会等主催行事への参加 延べ 79 人参加
- (ウ) 第 17 回マレットゴルフ大会 雨天のため中止
- (エ) 正副会長会
- (オ) 理事会

イ 上田地域福寿クラブ連合会

健康長寿、フレイル予防、引きこもり防止のため各種シルバースポーツの推進、生きがいと健康づくりの推進の維持、継続を行う。

- (ア) 高齢者クラブ数 34 単位クラブ 会員 1,743 人
- (イ) 会議、行事等
 - a 理事会、代議委員会、正副会長会
 - b 各部会会議
 - c 第 40 回福寿クラブ連合会定期大会
 - d 県シニア連 東信地区ブロック研修会 24 人参加
 - e 福寿クラブ指導者（単位クラブ会長）研修会
 - f 県シニア連 東信地区女性指導者研修会 22 人参加
 - g 長野県シニアクラブ大会 2 回 延べ 56 人参加
 - h 人権啓発担当者研修会 9 人参加
 - i 「うえだ福寿だより」発行 2 回
 - j 福寿連グラウンド・ゴルフ大会 59 人参加
 - k スマイルボウリング大会 151 人参加
 - l ファミリーゲートボール大会 3 チーム参加
 - m 福寿連ゲートボール大会 6 チーム参加
 - n 県シニア連 マレットゴルフ大会 8 人参加
 - o 福寿連マレットゴルフ大会 69 人参加
 - p 男性料理教室 116 人参加
 - q シルバースポーツ教室 145 人参加
 - r ファミリースマイルボウリング大会 135 人参加
 - s 寝たきり会員訪問活動 紙おむつ配布 52 人

- (ウ) 通年事業
 - a 金婚祝賀事業 18 組
お茶飲みサロン設置事業 22 クラブ
新規加入会員募集 66 人加入
 - b パソコン教室 前期、後期 2 回開催 延べ 87 人参加

ウ 上田市遺族会

- (ア) 役員総会 23 人
- (イ) 外部研修（長野県護国神社参拝、岐阜県高山市方面） 13 人参加
- (ウ) 全国戦没者追悼式 1 人参加
- (エ) 第 72 回長野県戦没者遺族大会 18 人参加

- (オ) 令和 6 年度長野県戦没者追悼式 18 人参加
- (カ) 令和 6 年度上田市戦没者追悼式 53 人参加
- (キ) 第 67 回上田市戦没者遺族大会 53 人参加

(2) 丸子地区センター

ア 丸子地域シニアクラブ事務局

- (ア) 高齢者クラブ数 25 単位クラブ 966 人
- (イ) 会議、行事等
 - a 理事会、総会等 6 回 66 人参加
 - b いきいきフェスティバル（シルバー作品展） 出店作品数 164 点
 - c シルバースポーツ大会（3 種目） 99 人参加
 - d 女性部研修会等 3 回 67 人参加
 - e 役員研修 5 人参加
 - f 冬季スポーツ交流会 2 回 37 人参加
 - g 県シニアクラブ連合会東信地区ブロック研修 2 回 7 人参加
 - h 県シニアクラブ連合会長野県大会 5 人参加
 - i 上田市高齢者クラブ連合会理事会・正副会長会 2 回 6 人参加
 - j 上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 12 人参加

イ 上田市丸子地区赤十字奉仕団

- (ア) 令和 6 年度総会 34 人参加
- (イ) 救急法講習会 2 回 27 人参加
- (ウ) 丸子女性団体連絡協議会防災研修会 10 人参加
- (エ) 上田市消費生活展 4 人参加
- (オ) まるこ福祉会防災訓練 7 人参加

ウ 上田市更生保護女性会丸子支部

- (ア) 令和 6 年度総会 31 人参加
- (イ) 社会を明るくする運動上田大会 3 人参加
- (ウ) 子育てサロンボランティア 5 回 5 人参加
- (エ) 役員研修 3 人参加
- (オ) 上田市消費生活展 4 人参加
- (カ) 会員視察研修 25 人参加
- (キ) 食事提供ボランティア 2 回 8 人参加
- (ク) 更生保護活動に関する学習会 32 人参加

(3) 真田地区センター

ア 真田地域シニアクラブ

- (ア) 高齢者クラブ数 5 単位 クラブ会員 191 人
- (イ) 会議、行事等
 - a 第 66 回全体会 正副会長・役員 7 人
 - b 県シニアクラブ東信地区ブロック研修会 正副会長
 - c 真田地域シニアクラブ杯マレットゴルフ大会 28 人
 - d 真田地域マレットゴルフ大会 27 人
 - e 県シニアクラブ女性指導者研修会
 - f 金婚祝いお届け 2 単位クラブ 5 組
 - g 体育祭・健康を考えるつどい 118 人
 - h さわやかゲートボール大会

- i 県シニアクラブ連合会大会 駒ヶ根市 役員 3 人
- j 役員会 5 人
- k 伝承広場 4 地区で開催：菅平地区・長地区・傍陽地区・本原地区

(4) 武石地区センター

ア 武石シニアクラブ

- (ア) 地区高齢者クラブ 7 単位クラブ 会員 337 人
- (イ) 会議・行事
 - a 評議員会（総会） 2 回
 - b 上田市高齢者クラブ連合会理事会
 - c ともしび洗濯物たたみ奉仕活動 16 回 延べ 32 人参加
 - d マレットゴルフ大会 1 回 22 人参加
 - e 県シニアクラブ連合会東信ブロック研修会 4 人参加
 - f 県シニアクラブ連合会女性指導者研修会 4 人参加
 - g ニュースポーツ大会 1 回 27 人参加
 - h 上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 10 人参加
 - i 第 63 回長野県シニアクラブ大会 3 人参加
 - j 役員研修旅行 11 人参加
 - k 上田市高齢者クラブ連合会正副会長会 会長参加

イ 武石もみじ会

- (ア) 親睦会、会食会 7 人参加
- (イ) 秋の研修会 群馬県 6 人参加
- (ウ) 総会

ウ 武石身体障害者福祉協会

- (ア) 視察研修 群馬県 5 人参加
- (イ) 総会

エ 武石遺族会

- (ア) 役員会
- (イ) 武石地区靖国霊社祭 5 人参加

実行委員会事務局

(1) 上田地区センター

- ア うえだ市民ふれあい広場 実行委員 24 団体 134 人 来場者 約 300 人
住民が互いに助け合う共生の意識を高め、福祉施設やボランティア団体、NPO 法人に対する理解を深めるとともに、ふれあいを図ることを目指して開催した。

(2) 丸子地区センター

ア いきいきフェスティバル

高齢者の長寿を祝うとともに、だれもが、身近な地域において支え合い、自分らしくともに生きる社会の実現に向け皆で考え、理解を深めることを目的としている。

- (ア) いきいきフェスティバル実行委員会 3 回 延べ 30 人参加
- (イ) いきいきフェスティバル 2024 450 人参加
- (ウ) 慶祝集合写真（米寿、白寿、100 歳以上、金婚式） 19 人参加

(3) 真田地区センター

ア ふれあい広場 in さなだ

真田地域を中心に活動しているボランティアや関係団体、福祉施設等が一堂に会し、思いやりのある地域づくりを目指して、住民が交流を深められる場として開催している。

(ア) ふれあい広場 in さなだ実行委員会 4回 延べ83人参加

(イ) 第36回ふれあい広場 in さなだ開催 実行委員延べ80人